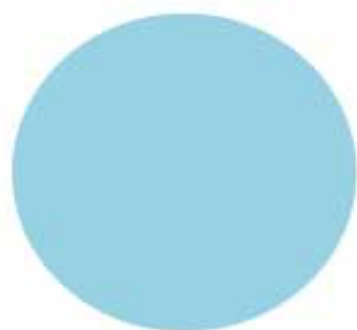




平成 27 年度

FD 活動・研究報告書



岡崎女子大学
岡崎女子短期大学

平成27年度 FD活動・研究報告書

		ページ
1. はじめに		
1-1	FD活動の今年度の総括について	2
2. 大学・短大FD委員会関係		
2-1	平成27年度大学・短大FD委員会実施一覧	5
3. 授業アンケート関係		
平成27年度前期		
3-1	授業アンケート(前期)の実施について	7
3-2	授業アンケート記入用紙(前期)	8
3-3	授業アンケート実施一覧(大学 前期)	10
3-4	授業アンケート実施一覧(短大 前期)	13
3-5	授業アンケート実施結果(大学 全科目)	19
3-6	授業アンケート実施結果(短大 全科目)	20
3-7	授業アンケートの結果報告及び自己点検報告書の提出について	21
3-8	授業アンケートによる自己点検報告書(前期)	22
平成27年度後期		
3-9	授業アンケート(後期)の実施について	23
3-10	授業アンケート記入用紙(後期)	24
3-11	授業アンケート実施一覧(大学 後期)	26
3-12	授業アンケート実施一覧(短大 後期)	29
3-13	授業アンケート実施結果(大学 全科目)	36
3-14	授業アンケート実施結果(短大 全科目)	37
3-15	授業アンケートによる自己点検報告書(後期)	38
4. FD研修会関係		
4-1	平成27年度第1回FD研修会ワーキンググループ議事録	40
4-2	第1回FD研修会レジメ	41
4-3	第1回FD研修会グループワーク報告	42
4-4	第2回FD研修会レジメ	47
4-5	第3回FD研修会案内	48
4-6	第1回FD勉強会レジメ	49
4-7	第2回FD勉強会レジメ	50
5. 授業公開関係		
5-1	平成27年度授業公開実施要領	52
5-2	平成27年度授業公開の実施について	53
5-3	授業公開コメント・自己評価用紙	54
5-4	授業公開実施結果	55
6. おわりに		
6-1	FD活動の今年度の総括と次年度の課題について	57

はじめに ～FD活動の今年度の総括について～

FD委員会

本学では、大学・短大それぞれの建学の精神に則り全学の3つのポリシーを定め、効果的かつ実質的な教育・研究活動及び地域貢献活動に繋げるため、教育等に関する様々なデータを分析し、教育・研究内容及び教育方法の改善・向上を図るFD委員会を設置している。FD委員会において企画した学内外の講師による「研修会」を行っている。また、「授業公開」、「授業アンケート」の実施とともに各教員が自己点検・評価することで、教育研究活動を一層向上させるよう努めている。

FD委員会は、大学と短大の合同組織であり、副学長、学部長、事務局長、教職員で構成されており、自己点検・評価委員会、教務委員会、その他関係部署との連携のもと、全学で教育目的の達成のために情報の共有や業務の連携を図っている。また、FD委員会の主導により、「授業アンケート」「授業公開」「FD研修会」を実施し、教育改善に取り組んでいる。詳細は、以下のとおりである。

学生による「授業アンケート」は、前期、後期ともに授業の13～15週の期間中に、すべての科目を対象として実施した（後期から、ゼミ及び受講生10名未満の科目も含む）。アンケートは、19項目の質問（5段階のリッカートスケール、但し予復習時間と難易度の2項目を除く）と授業に関する感想や意見の自由記述となっている。なお、平成26年度に授業アンケートの内容の改善を図り、26年度後期より新しい内容とし、27年度も引き続き実施している。設問項目は、①学生自身について、②授業について、③授業方法、教員について、④教育効果について、を下位領域とする19項目であり、自由記述として①授業で良かったと思う点、②教室・校舎等の環境改善への要望、となっている。専任教員の担当授業におけるアンケート実施度は高く、ほぼ全員が実施している。学期の終了後、集計結果データが授業担当教員に返却され、各教員が「授業アンケートによる自己点検報告書」を作成し、教務課に提出する。当報告書には、授業アンケートによる自己点検結果として、前回のアンケート結果を受け、今年度新たに“改善を試みた点”および今回の授業アンケート結果で“優れていた点・改善すべき点”を中心に記入することとし、各教員が教育目的の達成状況を自己点検するとともに、今後の授業改善方法の検討に活かしている。また、FD委員会において、実施状況や結果が報告され、大学全体としての課題や改善点について検討し、FD研修会や授業改善のための勉強会のテーマとしてつなげている。

「授業公開」の実施期間は、本年度より年間を通しての実施としている。平成25年度は任意実施であったが、平成26年度から常勤・非常勤を含めて原則全員実施へと強化している。授業公開は、継続的に行うことにより、日常的な授業におけるその内容・方法について教職員をはじめ、その他の人々による情報交換を行い、授業改善に資することを目的として実施している。また、教育内容の充実や教員としての教育力向上を目指すねらいもあ

る。授業参観者は、授業公開者に参観希望を事前に連絡し、参観後は「授業公開コメント・自己評価用紙」（上部）に意見や感想等を記入し、公開者に提出する。公開者は、その内容をふまえ同用紙（下部）に改善点等を記述し、教務課に提出する。26年度の手続きの煩雑さを改善し、27年度の授業公開・参観実施率が向上している。このような取り組みを通して、各教員が自らの授業を公開し、中立的・客観的にピアレビューを受けることにより、授業運営の改善に活かしている。

「FD研修会」について26年度から職員対象のSD委員会とも連携し、27年度も教職員両方が対象の研修会の形で実施することを試みている。建学の精神から3ポリシー、カリキュラムから教育内容・方法及び学修指導等の改善につながる構造の共通理解を図っている。また、学内外の講師による教育方法の改善に向けた研修を行い、教職員の事後のコメントにある様な一定の成果を得ている。各科目の授業内容の検証を授業アンケートから、学生生活全般の検証を学生満足度アンケートから行うことが可能となるので、今後はIRを設置するなどして、調査結果の分析・評価を各学科や関係部署に伝達し、授業運営や学修環境、学生の理解度等の具体的な課題を共有し解決していく体制づくりが必要である。

上記の「授業アンケート」「授業公開」「FD研修会」の実施については、FD委員会の中のワーキンググループが中心となって企画し、FD委員会での検討を経て教授会、学部・学科会議で周知され全学的に実施されている。また、実施された取り組みの結果は、授業担当者及び関係部署に適宜フィードバックされ、情報の共有化とともに共通認識の醸成を図っている。

2. 大学・短大F D委員会関係

平成27年度は計11回委員会を開催した。

実施日及び議題を次頁に掲載する。

平成 2 7 年度大学・短大 F D 委員会実施一覧

	実施日 出席人数	主な議題
第 1 回	H.27.4.15 1 2 人	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 2 6 年度 F D 活動結果報告 ・平成 2 7 年度 F D 活動方針 ・3 ワーキング・グループ（以下 3 WG）の担当について ・平成 2 6 年度後期授業アンケート集計結果について
第 2 回	H27.5.20 1 3 人	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 2 6 年度後期授業アンケート結果分析について ・本年度の F D 研修会の実施概要について ・平成 2 6 年度 F D 活動報告書の作成について
第 3 回	H27.6.17 1 3 人	<ul style="list-style-type: none"> ・本年度前期授業アンケートの結果分析と結果の活用の仕方について ・本年度授業公開の実施方法について
第 4 回	H27.7.15 1 3 人	<ul style="list-style-type: none"> ・3 WG の取り組みについて（進捗状況報告）
第 5 回	H27.8.19 1 1 人	<ul style="list-style-type: none"> ・3 WG の取り組みについて（進捗状況報告）
第 6 回	H27.9.16 1 2 人	<ul style="list-style-type: none"> ・第 1 回 F D 研修会について ・山形大学 F D セミナー出張報告について
第 7 回	H27.10.21 1 1 人	<ul style="list-style-type: none"> ・前年度後期及び本年度前期の授業アンケート結果分析について ・F D 活動報告書の本学ホームページ掲載について
第 8 回	H27.11.18 1 3 人	<ul style="list-style-type: none"> ・第 1 回 F D 研修会実施報告について ・第 2 回 F D 研修会実施案について ・授業公開の実施進捗状況について
第 9 回	H27.12.16 1 2 人	<ul style="list-style-type: none"> ・本年度後期の授業アンケート実施方法の一部変更について ・授業公開の実施進捗状況について
第 10 回	H28.1.20 1 0 人	<ul style="list-style-type: none"> ・第 2 回 F D 研修会実施報告について
第 11 回	H28.2.17 1 0 人	<ul style="list-style-type: none"> ・第 3 回 F D 研修会実施案について ・授業公開の実施進捗状況及び実施方法の再考について

3. 授業アンケート関係

平成27年度は前期・後期の2度授業アンケートを実施した。

実施した内容とその結果を示す資料を次頁以降に掲載する。

【前期と後期の変更点について】

① 自由記述の質問について以下のように変更した。

前期：この授業について良かったと思う点について書いてください。

後期：この授業で評価すべき点、改善すべき点、気づいた点などについて書いてください。

② 後期より、従前では授業アンケート実施していなかった履修者10人以下の授業及びゼミナールも実施することとした。

③ 後期より、自己点検報告書のフォーマットを一部改良した。

平成27年7月2日

岡崎女子大学

岡崎女子短期大学 授業担当教員各位

岡崎女子大学

岡崎女子短期大学

学長 長柄孝彦

「学生による授業アンケート」（前期）の実施について

先生方におかれましては、日頃より本学学生の学力向上のためにご尽力いただき、誠にありがとうございます。

今回、アンケート結果の授業改善への活用を図ることをねらいに、下記要領により「学生による授業アンケート」を実施させていただきたいと思いますので、ご理解ご協力くださいますようお願い申し上げます。

記

1 実施目的

本学教員が自分の授業内容および授業方法を改善するために、受講生の声を聞くことを目的として実施します。

2 実施期間

前期授業の第13週から第15週の期間でお願いします。

3 実施する授業

全ての授業科目（全コマ）で実施してください。
ただし、受講者10名未満の授業科目は除きます。

4 実施方法

- ・ 必要枚数分のアンケート用紙は先生方のメールボックスに配付させていただきます。
- ・ 授業時間内にアンケート回収に協力してもらえる学生を選出ください。
- ・ 回収協力の学生選出後、アンケート用紙を配付してください。
- ・ アンケート回収協力の学生に回収用の封筒を渡し、記入後のアンケートを回収させてください。（各先生は回収作業には関与しないでください）
- ・ 回収したアンケート用紙は、未使用のアンケート用紙も含めて封筒に入れ、回収協力学生に教務課まで、授業後すみやかに戻すようご指示ください。（教員自身が回収・返却をしないことを原則としています。）

5 アンケート集計結果による自己点検報告書の提出

アンケートの集計は業者に委託します。後日、その集計結果をお届けしますので、自己点検評価をし、後日配付の「授業アンケートによる自己点検報告書」を提出してください。

問い合わせ：〒444-0015

岡崎市中町1丁目8番地4

岡崎女子大学

岡崎女子短期大学 教務課

TEL(0564)28-3315

FAX(0564)28-3310

学生による授業アンケート

実施日 年 月 日

このアンケートは学生の視点を活用して、本学の授業の改善を図るためのものです。

- 調査は無記名で行い、個々の回答内容について公開されることはありません。
- 回答内容が成績に影響することはありません。
- 学生それぞれが、大学を構成する重要な一員として、本学の教育をより良いものにするという意識のもとに、率直に回答してください。
- 回答内容（数値データ）に関しては、ファイルにまとめ、授業担当者だけでなく、学生や教職員が学修支援センターで閲覧できるようにするとともに、教育環境の改善をする上での大切な資料とします。

■ 授業科目、教員氏名、あなたの学年クラスを記入してください。

授業科目		
教員氏名		
あなたの学年クラス	年	クラス

■ 1 から 19 の設問について、5 段階評価でもっとも適切な番号に○をつけてください。

【設 問 項 目】

選択基準： 5 そう思う 4 少し思う
3 どちらともいえない 2 あまり思わない
1 そう思わない

1 あなた自身について

- | | | | | | |
|--|---|---|---|---|---|
| 1 あなたは、授業内容（シラバス）を事前に読んでよく理解した上で授業に臨みましたか。 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 2 あなたは、この授業に積極的に参加しましたか。 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 3 この授業 1 回(90 分)のための予習・復習に費やした時間は平均()であった。
⑤ 4 時間以上 ④ 3 時間 ③ 2 時間 ② 1 時間
① 30 分以下 | ⑤ | ④ | ③ | ② | ① |
| 4 あなたは、授業中のマナー(私語、居眠り、携帯電話、途中入退室等)を守ることができましたか。 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |

2 授業について

- | | | | | | |
|--|---|---|---|---|---|
| 5 授業内容（シラバス）や教員の事前の説明は目標、内容、評価方法を示し、分かりやすいものでしたか。 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 6 この授業は、授業内容（シラバス）または教員の事前の説明どおりに授業が進められましたか？ | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 7 課題の内容や量は適切でしたか。 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 8 授業内容の難易度は適切でしたか。
⑤非常に難しい ④難しい ③適切 ②やさしい
①非常にやさしい | ⑤ | ④ | ③ | ② | ① |

3 授業方法、教員について

- | | | | | | |
|--|---|---|---|---|---|
| 9 教員に、授業への熱意が感じられましたか。 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 10 教員の説明は分かりやすかったですか。 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 11 教員の話し方（声の大きさ、話す速さ、メリハリ等）は適切でしたか。 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 12 黒板、教科書、ビデオ、プレゼンテーションソフト（パワーポイント等）などの使い方は適切でしたか。 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 13 教員は、質問や発言を促そうとしていましたか。 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 14 教員は、学生の発言や質問に適切に対応していましたか。 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 15 教員は、授業にふさわしくない学生の行動等に適切に対応していましたか。 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 16 教員は、すべての学生に公正な態度で接していましたか。 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |

4 教育効果について

- | | | | | | |
|-----------------------------------|---|---|---|---|---|
| 17 あなたは、この授業の到達目標を達成することができましたか。 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 18 授業により知的に触発され、さらに深く勉強したくなりましたか。 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 19 授業は全体として満足できるものでしたか。 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |

■ 自由記述

○ この授業で良かったと思う点について書いてください。

○ 教室の設備や校舎の環境などについて改善を要望するようなことがありましたら書いて下さい。

【専任教員（大学）】 平成27年度前期 授業アンケート実施一覧

番号	氏名	曜日	時限	クラス	アンケート実施授業科目	受講者数
1	長 柄 孝 彦	金	4	2S	声楽Ⅰ	15
2	小 宮 富 子	金	3	1S	英語総合（基礎）	14
3	小 宮 富 子	火	2	2ST・3ST	英語総合（中級）	26
4	小 宮 富 子	金	1	1ST	基礎演習	20
5	矢 藤 誠慈郎	水	1	1ST	保育原理	60
6	大岩 みちの	月	1	1T	保育内容総論	30
7	大岩 みちの	月	2	1S	保育内容総論	30
8	大岩 みちの	月	4	2ST	保育の計画と評価	84
9	大岩 みちの	金	2	1ST	子ども学総論	61
10	赤羽根 有里子	木	3	1S	保育内容演習「言葉」Ⅰ	30
11	赤羽根 有里子	火	3	1ST・2ST	日本文学	41
12	赤羽根 有里子	木	5	3S	児童文化	33
13	赤羽根 有里子	金	4	1T	保育内容演習「言葉」Ⅰ	30
14	上 田 信 道	火	3	1ST・2ST	日本文学	41
15	上 田 信 道	木	3	3T	児童文化	31
16	上 田 信 道	木	5	1ST	文章表現法	30
17	小 川 宜 子	火	1	1S	基礎音楽Ⅰ	30
18	小 川 宜 子	火	2	1T	基礎音楽Ⅰ	31
19	小 川 宜 子	木	4	3S	幼児音楽Ⅰ	33
20	小 川 宜 子	木	5	3T	幼児音楽Ⅰ	31
21	小 野 隆	木	4	2T	体育実技Ⅰ	41
22	小 野 隆	木	5	2S	体育実技Ⅰ	42
23	小 原 倫 子	金	5	1ST	子ども理解と評価	60
24	小 原 倫 子	金	2	1ST	子ども学総論	61
25	小 原 倫 子	月	5	1ST	教育と発達心理学Ⅰ	60
26	岸 本 美 紀	月	2	2T	教育実習指導Ⅰ	41
27	岸 本 美 紀	月	3	2S	教育実習指導Ⅰ	42
28	岸 本 美 紀	金	2	3S	保育実習指導Ⅰa	33
29	岸 本 美 紀	金	4	3S	教育実習指導Ⅱ	33
30	岸 本 美 紀	金	3	3T	教育実習指導Ⅱ	31
31	北 浦 恒 人	火	1	1S	基礎音楽Ⅰ	30
32	北 浦 恒 人	火	2	1T	基礎音楽Ⅰ	31
33	北 浦 恒 人	木	3	2S	基礎音楽Ⅲ	40
34	北 浦 恒 人	木	2	2T	基礎音楽Ⅲ	40
35	佐 善 圭	金	4	1S	造形Ⅰ	30
36	佐 善 圭	木	4	2S	造形Ⅲ	40
37	佐 善 圭	木	5	2T	造形Ⅲ	36

平成27年度前期 授業アンケート実施一覧
【専任教員（大学）】

番号	氏名	曜日	時限	クラス	アンケート実施授業科目	受講者数
38	佐 善 圭	金	3	1T	造形Ⅰ	30
39	白 石 さ や	金	1	1ST	基礎演習	20
40	白 石 さ や	金	2	1ST	子ども学総論	61
41	鈴 木 方 子	月	2	1T	乳児保育Ⅰ	30
42	鈴 木 方 子	月	1	1S	乳児保育Ⅰ	30
43	鈴 木 方 子	金	2	3T	保育実習指導Ⅰa	30
44	中 田 基 昭	火	5	2ST	教育学概論	83
45	中 田 基 昭	金	4	1ST	子ども学総論	61
46	吉 村 譲	月	3	3S	保育実習指導Ⅰb	33
47	権 絃 珠	木	1	2ST	相談援助Ⅰ	83
48	白 垣 潤	木	3	3S	障がい児保育Ⅰ	33
49	白 垣 潤	木	4	3T	障がい児保育Ⅰ	30
50	山 田 光 治	金	1	2ST	家庭支援論	83
51	山 田 光 治	月	3	3T	保育実習指導Ⅰb	30
52	鳥 居 恵 治	月	4	1S	幼児体育Ⅰ	30
53	鳥 居 恵 治	月	3	1T	幼児体育Ⅰ	30
54	加 藤 早 苗	木	2	2S	保育内容演習「人間関係」Ⅰ	42
55	加 藤 早 苗	木	3	2T	保育内容演習「人間関係」Ⅰ	41
56	平 尾 憲 嗣	金	3	2T	音楽Ⅰ	22
57	日野水 憲	木	3	1T	英語総合（基礎）	16
58	鈴 木 恒 一	火	1	1T	保育内容演習「健康」Ⅰ	14
59	鈴 木 恒 一	火	2	1S	保育内容演習「健康」Ⅰ	16
60	松 井 千 代	木	3	1T	英語総合（基礎）	14
61	松 井 千 代	金	3	1S	英語総合（基礎）	16
62	竹 本 行 雄	金	1	1ST	基礎演習	20
63	笹 瀬 佐代子	金	1	3T	女性のキャリアとマナー	31
64	遠 藤 幸 子	火	1	2ST	子どもの保健Ⅰ	83
65	小 川 英 彦	木	4	1ST	社会的養護	61
66	虞 萍	火	4	2ST・3ST	中国語（入門）	33
67	佐 藤 由 美	木	3	2S	基礎音楽Ⅲ	40
68	佐 藤 由 美	木	2	2T	基礎音楽Ⅲ	40
69	武 田 康 代	金	4	2T	子どもの食と栄養Ⅰ	41
70	武 田 康 代	金	3	2S	子どもの食と栄養Ⅰ	42
71	西 濱 由 有	木	3	2S	基礎音楽Ⅲ	40
72	西 濱 由 有	木	2	2T	基礎音楽Ⅲ	40
73	服 部 次 郎	木	2	1ST	児童家庭福祉	61
74	服 部 次 郎	木	1	2ST	相談援助Ⅰ	83

平成27年度前期 授業アンケート実施一覧

【専任教員（大学）】

番号	氏名	曜日	時限	クラス	アンケート実施授業科目	受講者数
75	原 田 裕 貴	木	3	2S	基礎音楽Ⅲ	40
76	原 田 裕 貴	木	2	2T	基礎音楽Ⅲ	40
77	細 川 壯 平	金	2	2ST	日本国憲法	83
78	松 本 亜 実	月	4	1T	情報処理Ⅰ	30
79	松 本 亜 実	月	3	1S	情報処理Ⅰ	30
80	山 内 敦 子	木	3	2S	基礎音楽Ⅲ	40
81	山 内 敦 子	木	2	2T	基礎音楽Ⅲ	40
82	吉 田 龍 宏	月	2	2S	保育内容演習「環境」Ⅰ	42
83	吉 田 龍 宏	月	3	2T	保育内容演習「環境」Ⅰ	41
84	堀 初 枝	火	1	1S	基礎音楽Ⅰ	30
85	堀 初 枝	火	2	1T	基礎音楽Ⅰ	31
86	佐部利 弦	火	1	1S	基礎音楽Ⅰ	30
87	佐部利 弦	火	2	1T	基礎音楽Ⅰ	31
88	川 口 勇 作	火	3	1ST・2ST	生活と統計	10
89	エドワード・バンダーアー	火	2	2ST・3ST	オーラル・イングリッシュ（初級）	24
90	山 田 千穂子	水	1	3S	女性のキャリアとマナー	33
91	金 昭 鉄	木	2	3ST	韓国語（入門）	12
92	麓 洋介	木	4	3S	幼児音楽Ⅰ	33
93	麓 洋介	木	5	3T	幼児音楽Ⅰ	31
94	本 山 益 子	金	3	3S	保育内容演習「表現」Ⅰ	33
95	本 山 益 子	金	4	3T	保育内容演習「表現」Ⅰ	30
96	古 川 芳 子	水	2	2ST	ジェンダー論	84

【専任教員（短大）】 平成27年度前期 授業アンケート実施一覧 2016/6/16

番号	氏名	曜日	時限	クラス	アンケート実施授業科目	受講者数
1	鳥居 恵 治	火	3	1C	幼児体育Ⅰ	46
2	鳥居 恵 治	火	2	1A	幼児体育Ⅰ	46
3	鳥居 恵 治	金	5	2C	健康とスポーツ（実技）	43
4	鈴木 恒 一	木	1	1EG	保育原理	85
5	鈴木 恒 一	金	4	1B	教育実習（事前・事後指導を含む。）	46
6	鈴木 恒 一	金	5	1A	教育実習（事前・事後指導を含む。）	46
7	梅下 弘 樹	木	2	2G	障害児保育Ⅰ	40
8	梅下 弘 樹	金	4	2B	障害児保育Ⅰ	42
9	梅下 弘 樹	木	5	2A	発達と教育の心理学演習	44
10	梅下 弘 樹	火	2	2E	発達と教育の心理学演習	46
11	梅下 弘 樹	火	3	2C	発達と教育の心理学演習	43
12	梅下 弘 樹	木	3	2D	発達と教育の心理学演習	42
13	鈴木 文 代	水	2	1G	乳児保育Ⅰ	42
14	鈴木 文 代	金	1・2	2AB	保育実習指導Ⅰ・Ⅱ（保育所）	88
15	鈴木 穂 波	木	4	1D	保育内容演習（言葉）	46
16	鈴木 穂 波	木	2	1G	基礎演習Ⅰ	42
17	鈴木 穂 波	火	1	1C	保育内容演習（言葉）	45
18	鈴木 穂 波	火	3	2B	児童文化演習Ⅰ	44
19	鈴木 穂 波	火	2	1G	保育内容演習（言葉）	42
20	鈴木 穂 波	金	2	1G	日本語表現	42
21	鈴木 穂 波	木	1	2A	児童文化演習Ⅰ	45
22	妹尾 美智子	火	3	2A	幼児音楽Ⅰ	45
23	妹尾 美智子	火	4	2C	幼児音楽Ⅰ	43
24	妹尾 美智子	木	1	1A	基礎音楽Ⅰ	46
25	妹尾 美智子	月	3	1C	基礎音楽Ⅰ	45
26	妹尾 美智子	月	4	1B	基礎音楽Ⅰ	46
27	妹尾 美智子	月	2	1E	基礎音楽Ⅰ	42
28	滝沢 ほだか	金	2	2B	幼児音楽Ⅰ	43
29	滝沢 ほだか	火	4	2C	幼児音楽Ⅰ	43
30	滝沢 ほだか	火	3	2A	幼児音楽Ⅰ	45
31	滝沢 ほだか	金	4	2D	幼児音楽Ⅰ	41
32	滝沢 ほだか	木	1	2AB	保育内容演習（表現）	89
33	滝沢 ほだか	木	1	2CD	保育内容演習（表現）	84
34	滝沢 ほだか	金	2	3EG	保育内容演習（表現）	85
35	戸田 順 子	金	3	2CD	社会的養護	85
36	戸田 順 子	木	1	2EG	社会的養護	84
37	戸田 順 子	土	1	1EG	社会福祉	84
38	戸田 順 子	木	3	1AB	社会福祉	92
39	戸田 順 子	木	2	2E	基礎演習Ⅲ	46
40	戸田 順 子	金	1	2G	基礎演習Ⅲ	39

平成27年度前期 授業アンケート実施一覧

2016/6/

【専任教員（短大）】

番号	氏名	曜日	時限	クラス	アンケート実施授業科目	受講者数
41	野田 美 樹	月	2	2G	教育実習（事前・事後指導を含む。）	39
42	野田 美 樹	月	5	1C	保育内容総論	46
43	野田 美 樹	月	4	1A	保育内容総論	46
44	野田 美 樹	金	1・2	2CD	保育実習指導Ⅰ・Ⅱ（保育所）	84
45	平尾 憲 嗣	月	3	1C	基礎音楽Ⅰ	45
46	平尾 憲 嗣	月	4	1B	基礎音楽Ⅰ	46
47	平尾 憲 嗣	月	1	1G	基礎音楽Ⅰ	42
48	平尾 憲 嗣	金	4	2D	幼児音楽Ⅰ	41
49	平尾 憲 嗣	金	2	2G	幼児音楽Ⅰ	39
50	真木 弘	火	1	2G	幼児体育Ⅰ	39
51	真木 弘	木	3	2B	健康とスポーツ（実技）	43
52	真木 弘	木	1	3G	健康とスポーツ（実技）	41
53	山下 晋	木	1	1B	保育内容演習（健康）	46
54	山下 晋	火	4	1A	保育内容演習（健康）	47
55	山下 晋	金	3	2A	健康とスポーツ（実技）	45
56	山下 晋	火	1	1D	保育内容演習（健康）	49
57	山下 晋	木	2	1D	幼児体育Ⅰ	45
58	山下 晋	木	3	1C	保育内容演習（健康）	46
59	山田 悠 莉	木	2	2AB	保育内容演習（表現）	89
60	山田 悠 莉	木	1	2CD	保育内容演習（表現）	84
61	山田 悠 莉	木	4	1A	パフォーミングボディⅠ	46
62	山田 悠 莉	金	2	3EG	保育内容演習（表現）	85
63	山田 悠 莉	土	1	2E	パフォーミングボディ	30
64	山田 悠 莉	土	2	2G	パフォーミングボディ	31
65	山田 悠 莉	金	5	1C	パフォーミングボディⅠ	45
66	横田 典 子	月	1	1E	基礎造形	42
67	横田 典 子	月	2	1G	基礎造形	42
68	横田 典 子	金	5	2B	幼児造形Ⅱ	43
69	横田 典 子	木	3	2C	幼児造形Ⅱ	44
70	横田 典 子	木	2	2AB	保育内容演習（表現）	89
71	横田 典 子	月	4	2D	幼児造形Ⅱ	41
72	横田 典 子	木	1	2CD	保育内容演習（表現）	84
73	横田 典 子	金	2	3EG	保育内容演習（表現）	85
74	米 窪 洋 介	月	4	1C	基礎造形	45
75	米 窪 洋 介	月	5	1B	基礎造形	46
76	米 窪 洋 介	金	4	1A	基礎造形	46
77	米 窪 洋 介	金	5	1D	基礎造形	45
78	米 窪 洋 介	火	4	2A	幼児造形Ⅱ	45
79	米 窪 洋 介	火	2	2G	幼児造形Ⅱ	39
80	米 窪 洋 介	火	1	2E	幼児造形Ⅱ	47

平成27年度前期 授業アンケート実施一覧

2016/6/16

【専任教員（短大）】

番号	氏名、	曜日	時限	クラス	アンケート実施授業科目	受講者数
81	市原 潔	木	4	2MP	情報処理Ⅰ	34
82	市原 潔	月	2	1MP	キャリアデザインⅠ	61
83	市原 潔	火	5	2MP	キャリアデザインⅡ	60
84	市原 潔	火	2	2MP	プログラミングⅠ	14
85	河合 晋	火	3	1M	簿記原理Ⅰ	31
86	河合 晋	火	4	1P	簿記原理Ⅰ	30
87	河合 晋	火	2	2MP	コンピュータ会計	21
88	河合 晋	月	4	1MP	簿記検定講座Ⅰ	43
89	河合 晋	木	4	2MP	上級簿記Ⅰ	13
90	黒野 伸子	火	2	1MP	診療報酬請求論Ⅰ	31
91	黒野 伸子	金	3	2MP	診療報酬請求実務Ⅱ	38
92	黒野 伸子	火	5	1MP	医療保障制度概論	24
93	黒野 伸子	木	1	1MP	医学一般	34
94	黒野 伸子	金	1	2MP	医療事務総論	38
95	笹瀬 佐代子	火	4	2MP	ホスピタリティーとマナーⅡ	29
96	笹瀬 佐代子	木	4	1MP	ホスピタリティーとマナーⅠ	53
97	笹瀬 佐代子	金	3	1MP	事務管理論	46
98	竹本 行雄	水	1	1E	日本語表現	42
99	竹本 行雄	金	2	1A～D	日本語表現	45
100	竹本 行雄	水	4	1MP	日本語表現	61
101	日野水 憲	金	2	1P	英語Ⅰ	15
102	祝田 学	月	3	1MP	マーケティング論	38
103	祝田 学	月	1	2MP	経営組織入門	34
104	祝田 学	火	3	2MP	経営実務演習Ⅱ	60
105	祝田 学	火	1	1MP	マネジメント論	61
106	町田 由徳	水	2	1MP	基礎デザイン論	35
107	町田 由徳	火	3	2MP	経営実務演習Ⅱ	60
108	町田 由徳	金	1	2MP	CADオペレーションⅡ	18
109	町田 由徳	金	3	2MP	グラフィックデザイン	17
110	町田 由徳	火	5	1MP	生活用品デザイン	15
111	築山 高彦	月	4	2AB	社会的養護	87
112	築山 高彦	金	1・2	2A	保育実習指導Ⅰ（施設）	45
113	西川 由美子	月	2	2E	教育実習（事前・事後指導を含む。）	46
114	西川 由美子	水	2	2E	保育内容演習（環境）	46
115	中村 治人	火	3	1AB	保育者論	93
116	中村 治人	火	4	1CD	保育者論	90
117	中村 治人	火	5	1A	基礎演習Ⅱ	46
118	中村 治人	木	4	2AB	教育方法論	87
119	中村 治人	木	5	2CD	教育方法論	85
120	中村 治人	木	2	1E	基礎演習Ⅰ	42
121	中村 治人	金	1	1EG	教育原理	84

【専任教員（短大）】 平成27年度前期 授業アンケート実施一覧

2016/6/16

番号	氏名	曜日	時限	クラス	アンケート実施授業科目	受講者数
122	松井千代	木	2	1B	外国語コミュニケーションⅠ	46
123	松井千代	金	2	1M	英語Ⅰ	19
124	松井千代	金	4	1D	外国語コミュニケーションⅠ	45
125	後藤直美	水	1	2G	保育内容演習（環境）	40
126	後藤直美	木	3	1D	教育実習（事前・事後指導を含む。）	45
127	後藤直美	木	4	1C	教育実習（事前・事後指導を含む。）	45
128	長柄孝彦	月	2	1D	パフォーミングボディⅠ	45
129	矢藤誠慈郎	火	2	1CD	保育原理	90
130	矢藤誠慈郎	火	1	1AB	保育原理	92
131	大岩みちの	木	4	2C	保育内容演習（人間関係）	44
132	大岩みちの	金	4	2A	保育内容演習（人間関係）	45
133	赤羽根有里子	火	2	2C	児童文化演習Ⅰ	43
134	赤羽根有里子	金	1	1A～D	日本語表現	45
135	上田信道	火	2	1B	保育内容演習（言葉）	46
136	上田信道	木	4	2D	児童文化演習Ⅰ	41
137	上田信道	火	1	1E	保育内容演習（言葉）	43
138	小野隆	火	1	3E	保育内容演習（健康）	43
139	小野隆	火	2	3G	保育内容演習（健康）	41
140	小野隆	月	5	2A～D	レクリエーション演習	39
141	小原倫子	月	2	2B	発達と教育の心理学演習	44
142	小原倫子	水	2	2G	発達と教育の心理学演習	38
143	岸本美紀	月	1	2EG	指導法の研究	86
144	権 絃 珠	木	2	1C	基礎演習Ⅱ	45
145	権 絃 珠	金	1・2	2C	保育実習指導Ⅰ（施設）	43
146	白垣潤	金	1	3E	保育カウンセリング	44
147	白垣潤	火	2	2D	障害児保育Ⅰ	41
148	白垣潤	金	2	2E	障害児保育Ⅰ	46
149	鈴木方子	金	1	3G	保育実習指導Ⅰ・Ⅱ	42
150	鈴木方子	木	2	3E	保育実習指導Ⅰ・Ⅱ	44
151	仲田勝美	月	1	1CD	社会福祉	95
152	仲田勝美	月	4	1D	基礎演習Ⅱ	45
153	仲田勝美	金	1・2	2D	保育実習指導Ⅰ（施設）	41
154	吉村 諒	金	1・2	2B	保育実習指導Ⅰ（施設）	43
155	吉村 諒	月	1	1B	基礎演習Ⅱ	46

平成27年度前期 授業アンケート実施一覧

2016/6/16

【専任教員 (短大)】

番号	氏名	曜日	時限	クラス	アンケート実施授業科目	受講者数
156	池 和 子	木	1	1C	外国語コミュニケーションⅠ	45
157	池 和 子	木	2	1A	外国語コミュニケーションⅠ	46
158	市 川 恭 子	水	1	1D	基礎音楽Ⅰ	45
159	市 川 恭 子	金	1	2E	幼児音楽Ⅰ	47
160	市 川 恭 子	月	2	1E	基礎音楽Ⅰ	42
161	市 川 恭 子	月	1	1G	基礎音楽Ⅰ	42
162	岩 田 愛	金	1	1A~D	女性の自立と人権 (1限)	61
163	岩 田 愛	金	2	1A~D	女性の自立と人権 (2限)	48
164	内 田 博 昭	月	2	2MP	健康とスポーツ (実技) Ⅰ	32
165	内 田 博 昭	月	1	3E	健康とスポーツ (実技)	42
166	遠 藤 幸 子	火	2	2AB	子どもの保健Ⅰ	89
167	遠 藤 幸 子	木	1	2B	子どもの保健演習	43
168	遠 藤 幸 子	木	2	2D	子どもの保健演習	41
169	太 田 二 郎	月	3	1AB	家庭支援論	92
170	太 田 富士子	月	1	1A	乳児保育Ⅰ	46
171	太 田 富士子	月	2	1C	乳児保育Ⅰ	45
172	岡 田 摩 紀	土	1	2E	レクリエーション演習	21
173	岡 田 摩 紀	土	2	2G	レクリエーション演習	15
174	小 野 隆 司	金	3	2B	幼児音楽Ⅰ	43
175	小 野 隆 司	金	1	2E	幼児音楽Ⅰ	47
176	小 野 隆 司	金	2	2G	幼児音楽Ⅰ	39
177	小 野 孝 美	月	3	1D	保育内容総論	45
178	小 野 孝 美	月	2	1B	保育内容総論	48
179	金 子 一 元	月	2	3G	児童文化演習	41
180	金 子 一 元	水	1	3E	児童文化演習	43
181	金 子 一 元	水	2	1A	保育内容演習 (言葉)	47
182	川 口 勇 作	火	2	1E	情報基礎演習Ⅰ	42
183	川 口 勇 作	火	1	1G	情報基礎演習Ⅰ	42
184	川 口 勇 作	木	1	1D	情報基礎演習Ⅰ	45
185	後 藤 亜 希	木	1	3E	外国語コミュニケーションⅠ	43
186	後 藤 亜 希	木	2	3G	外国語コミュニケーションⅠ	41
187	佐 藤 和 子	木	4	1B	パフォーミングボディⅠ	46
188	鈴 木 展 子	金	4	2C	子どもの保健演習	43
189	鈴 木 展 子	金	5	2A	子どもの保健演習	45
190	竹 内 典 夫	金	1	1MP	日本国憲法	61
191	竹 内 典 夫	金	2	1A~D	日本国憲法	47
192	田 中 秀 吉	火	1	3G	子どもの食と栄養Ⅰ	41
193	田 中 秀 吉	火	2	3E	子どもの食と栄養Ⅰ	42
194	戸 谷 百合子	月	2	3E	子どもの保健演習	44
195	戸 谷 百合子	月	1	3G	子どもの保健演習	41
196	戸 谷 百合子	月	3	2CD	子どもの保健Ⅰ	84

【専任教員（短大）】 平成27年度前期 授業アンケート実施一覧

2016/6/16

番号	氏名	曜日	時限	クラス	アンケート実施授業科目	受講者数
197	鳥 当 法 子	木	3	2A	子どもの食と栄養Ⅰ	45
198	鳥 当 法 子	木	2	2C	子どもの食と栄養Ⅰ	43
199	中 田 伸 江	水	2	1B	幼児体育Ⅰ	46
200	中 田 伸 江	火	4	2D	健康とスポーツ（実技）	41
201	中 田 伸 江	水	1	2E	幼児体育Ⅰ	48
202	野 田 耕 平	火	3	1P	情報基礎演習Ⅰ	30
203	野 田 耕 平	火	4	1M	情報基礎演習Ⅰ	31
204	原 田 裕 貴	月	1	1G	基礎音楽Ⅰ	42
205	原 田 裕 貴	月	2	1E	基礎音楽Ⅰ	42
206	平 岩 ふみよ	月	3	2A	障害児保育Ⅰ	45
207	平 岩 ふみよ	月	4	2C	障害児保育Ⅰ	43
208	廣 瀬 伸 行	月	1	1MP	メディアデザイン	18
209	細 江 逸 雄	水	2	1CD	家庭支援論	90
210	細 川 壯 平	金	1	1A～D	日本国憲法	46
211	堀 初 枝	金	1	2E	幼児音楽Ⅰ	47
212	堀 初 枝	金	2	2G	幼児音楽Ⅰ	39
213	本 田 美 香	水	1	1D	基礎音楽Ⅰ	45
214	本 田 美 香	金	1	1A	基礎音楽Ⅰ	46
215	松 下 幸 子	火	3	1D	乳児保育Ⅰ	45
216	松 下 幸 子	火	4	1B	乳児保育Ⅰ	46
217	松 本 亜 実	金	4	1C	情報基礎演習Ⅰ	45
218	松 本 亜 実	金	5	1B	情報基礎演習Ⅰ	46
219	松 本 亜 実	月	2	1A	情報基礎演習Ⅰ	46
220	熊 崎 稔 子	月	2	2D	子どもと食と栄養Ⅰ	41
221	熊 崎 稔 子	月	3	2B	子どもと食と栄養Ⅰ	45
222	山 崎 千恵子	火	3	2D	保育内容演習（人間関係）	41
223	山 崎 千恵子	火	4	2B	保育内容演習（人間関係）	44
224	杉 山 洋 子	水	1	1G	保育内容総論	42
225	杉 山 洋 子	水	2	1E	保育内容総論	42
226	杉 山 洋 子	金	2	1E	乳児保育Ⅰ	42
227	石 井 僚	水	1	3G	保育カウンセリング	41
228	村 田 幸 則	水	4	2MP	臨床検査学	42
229	前 川 芳 久	水	5	1MP・2MP	図書館サービス概論	29
230	前 川 芳 久	金	4	1MP・2MP	図書館概論	28
231	石 川 澄 江	木	1	2MP	医学用語	26
232	古 川 芳 子	木	3	1MP	女性の自立と人権	61
233	飛 石 眞理子	土	1	1MP・2MP	情報サービス演習	24

2015年度前期 学生による授業アンケート集計結果

全体集計 (大学)

■受講者数 3,632名
■回答者数 2,781名
■回答率 76.6%

※無回答・重複回答は集計対象外

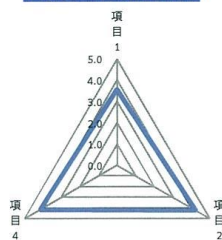
大項目	項目	大学平均	肯定回答率	割合					件数						合計					
				⑤ そう 思う	④ 少し 思う	③ どちら とも いえない	② あまり 思わ ない	① そう 思わ ない	⑤ そう 思う	④ 少し 思う	③ どちら とも いえない	② あまり 思わ ない	① そう 思わ ない	0%		25%	50%	75%	100%	
1 あなた自身について	1 あなたは、授業内容(シラバス)を事前に読んでよく理解した上で授業に臨みましたか。	3.57	50.3%	19.6%	30.6%	40.4%	6.1%	3.2%	545	852	1,123	170	90	2,780						
	2 あなたは、この授業に積極的に参加しましたか。	4.25	78.3%	48.7%	29.6%	19.8%	1.6%	0.3%	1,352	821	549	44	9	2,775						
	3 この授業1回(90分)のための予習・復習に費やした平均時間※	-	-	3.3%	3.7%	10.9%	27.9%	54.3%	91	102	302	773	1,506	2,774						
	4 あなたは、授業中のマナーを守ることができましたか。	4.17	75.6%	45.1%	30.5%	20.8%	3.1%	0.5%	1,253	848	579	86	13	2,779						
2 授業について	5 授業内容(シラバス)や教員の事前の説明は目標、内容、評価方法を示し、分かりやすいものでしたか。	3.98	68.9%	32.1%	36.3%	28.3%	2.2%	0.6%	891	1,024	788	60	17	2,780						
	6 この授業は、授業内容(シラバス)または教員の事前の説明どおりに授業が進められましたか？	4.04	71.6%	35.5%	36.1%	26.0%	1.9%	0.6%	985	1,004	721	52	16	2,778						
	7 課題の内容や量は適切でしたか。	3.96	67.9%	35.2%	32.6%	26.7%	4.3%	1.2%	979	906	741	120	32	2,778						
	8 授業内容の難易度は適切でしたか。 ※	4.04	-	6.3%	27.3%	63.2%	2.4%	0.8%	174	758	1,752	66	22	2,772						
3 授業方法、教員について	9 教員に、授業への熱意が感じられましたか。	4.35	85.3%	51.5%	33.8%	13.4%	0.9%	0.4%	1,431	938	371	26	12	2,778						
	10 教員の説明は分かりやすかったですか。	4.14	75.7%	45.4%	30.3%	18.3%	4.6%	1.4%	1,261	841	508	128	38	2,776						
	11 教員の話し方(声の大きさ、話す速さ、メリハリ等)は適切でしたか。	4.22	78.7%	49.8%	28.8%	16.3%	3.7%	1.3%	1,384	801	454	102	36	2,777						
	12 黒板、教科書、ビデオ、プレゼンテーションソフト(パワーポイント等)などの使い方は適切でしたか。	4.10	73.4%	43.3%	30.1%	21.7%	3.5%	1.4%	1,203	835	602	98	39	2,777						
4 教育効果について	13 教員は、質問や発言を促そうとしていましたか。	4.11	72.4%	44.3%	28.1%	22.8%	3.8%	1.0%	1,231	779	632	106	29	2,777						
	14 教員は、学生の発言や質問に適切に対応していましたか。	4.25	78.4%	49.7%	28.7%	19.2%	1.7%	0.7%	1,381	796	534	46	19	2,776						
	15 教員は、授業にふさわしくない学生の行動等に適切に対応していましたか。	4.17	74.4%	46.2%	28.1%	22.9%	1.5%	1.2%	1,283	781	637	43	32	2,776						
	16 教員は、すべての学生に公正な態度で接していましたか。	4.33	80.7%	55.4%	25.3%	17.3%	1.2%	0.8%	1,538	703	481	32	22	2,776						
4 教育効果について	17 あなたは、この授業の到達目標を達成することができましたか。	3.85	64.2%	24.8%	39.4%	32.1%	3.1%	0.6%	687	1,092	891	86	17	2,773						
	18 授業により知的に勉められ、さらに深く勉強したくなりましたか。	3.96	68.3%	33.4%	34.9%	27.3%	3.4%	1.0%	927	968	758	93	29	2,775						
	19 授業は全体として満足できるものでしたか。	4.07	72.1%	39.0%	33.1%	24.8%	2.4%	0.7%	1,083	917	687	67	20	2,774						

※項目3は⑤4時間以上、④3時間、③2時間、②1時間、①30分以下、項目8は⑤非常に難しい、④難しい、③適切、②やさしい、①非常にやさしい

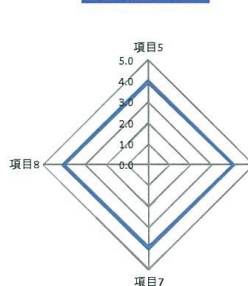
平均:「⑤そう思う」「③適切」を5点、「④少し思う」「⑤非常に難しい」を4点、「③どちらともいえない」「②やさしい」を3点、「②あまり思わない」「④難しい」を2点、「①そう思わない」「①非常にやさしい」を1点として加重平均

■設問項目別平均グラフ

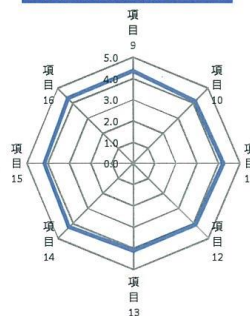
1.あなた自身について



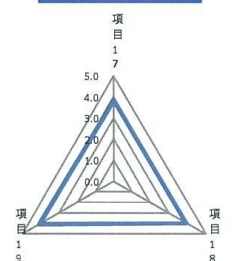
2.授業について



3.授業方法、教員について



4.教育効果について



2015年度前期 学生による授業アンケート集計結果

全体集計 (短大)

■受講者数 10,487名
■回答者数 8,890名
■回答率 84.8%

※無回答・重複回答は集計対象外

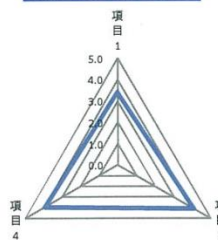
大項目	項目	短大平均	肯定回答率	⑤ そう思う	④ 少し思う	割合 ③ い え ど ち ら と も	② な い あ ま り 思 わ な い	① い そ う 思 わ な い	⑤ そ う 思 う	④ 少 し 思 う	③ い え ど ち ら と も	② な い あ ま り 思 わ な い	① い そ う 思 わ な い	合計	
1 あなた自身について	1 あなたは、授業内容(シラバス)を事前に読んでよく理解した上で授業に臨みましたか。	3.42	44.0%	14.7%	29.3%	43.2%	9.1%	3.7%	1,305	2,608	3,836	806	331	8,886	
	2 あなたは、この授業に積極的に参加しましたか。	4.10	73.2%	39.2%	34.0%	24.8%	1.6%	0.5%	3,478	3,014	2,196	143	40	8,871	
	3 この授業1回(90分)のための予習・復習に費やした平均時間※	-	-	3.6%	5.3%	16.9%	25.9%	48.3%	319	466	1,495	2,295	4,279	8,854	
	4 あなたは、授業中のマナーを守ることができましたか。	3.93	64.9%	33.6%	31.3%	30.5%	3.8%	0.8%	2,982	2,775	2,707	339	68	8,871	
2 授業について	5 授業内容(シラバス)や教員の事前の説明は目標、内容、評価方法を示し、分かりやすいものでしたか。	3.84	62.4%	28.0%	34.4%	32.3%	4.0%	1.3%	2,483	3,057	2,871	355	114	8,880	
	6 この授業は、授業内容(シラバス)または教員の事前の説明どおりに授業が進められましたか。	3.94	66.7%	31.7%	35.0%	29.8%	2.6%	1.0%	2,812	3,106	2,643	227	90	8,878	
	7 課題の内容や量は適切でしたか。	3.85	62.0%	31.4%	30.6%	31.0%	5.5%	1.5%	2,785	2,715	2,749	492	135	8,876	
	8 授業内容の難易度は適切でしたか。	4.13	-	6.7%	23.0%	66.0%	3.1%	1.3%	591	2,039	5,843	272	113	8,858	
3 授業方法、教員について	9 教員に、授業への熱意が感じられましたか。	4.19	77.8%	45.6%	32.2%	18.9%	2.4%	0.9%	4,041	2,853	1,679	210	82	8,865	
	10 教員の説明は分かりやすかったですか。	4.00	70.7%	40.2%	30.5%	20.8%	5.9%	2.5%	3,567	2,700	1,848	527	224	8,866	
	11 教員の話し方(声の大きさ、話す速さ、メリハリ等)は適切でしたか。	4.04	71.6%	42.6%	29.0%	20.8%	5.4%	2.2%	3,779	2,568	1,843	480	195	8,865	
	12 黒板、教科書、ビデオ、プレゼンテーションソフト(パワーポイント等)などの使い方は適切でしたか。	3.96	67.4%	37.9%	29.5%	25.7%	4.8%	2.1%	3,358	2,614	2,278	422	182	8,854	
	13 教員は、質問や発言を促そうとしていましたか。	3.88	63.2%	34.2%	28.9%	29.6%	4.8%	2.5%	3,031	2,564	2,618	425	221	8,859	
	14 教員は、学生の発言や質問に適切に対応していましたか。	4.03	69.6%	40.0%	29.6%	25.2%	3.5%	1.6%	3,548	2,624	2,236	311	145	8,864	
	15 教員は、授業にふさわしくない学生の行動等に適切に対応していましたか。	3.98	66.6%	37.0%	29.7%	28.9%	3.0%	1.5%	3,278	2,828	2,560	268	129	8,863	
	16 教員は、すべての学生に公正な態度で接していましたか。	4.16	74.0%	45.8%	28.2%	23.1%	1.9%	1.0%	4,061	2,495	2,050	169	86	8,861	
4 教育効果について	17 あなたは、この授業の到達目標を達成することができましたか。	3.83	62.6%	25.2%	37.4%	33.9%	2.8%	0.8%	2,232	3,309	2,999	246	70	8,856	
	18 授業により知的に触発され、さらに深く勉強したくなりましたか。	3.90	65.5%	31.4%	34.1%	28.8%	4.1%	1.6%	2,782	3,017	2,555	364	139	8,857	
	19 授業は全体として満足できるものでしたか。	4.02	70.2%	37.7%	32.5%	25.2%	3.0%	1.6%	3,335	2,873	2,230	268	143	8,849	

※項目3は⑤4時間以上、④3時間、③2時間、②1時間、①30分以下、項目8は⑤非常に難しい、④難しい、③適切、②やさしい、①非常にやさしい
平均: ⑤「そう思う」③「適切」を5点、④「少し思う」①「非常に難しい」を4点、③「どちらともいえない」②「やさしい」を3点、②「あまり思わない」④「難しい」を2点、①「そう思わない」①「非常にやさしい」を1点として加重平均

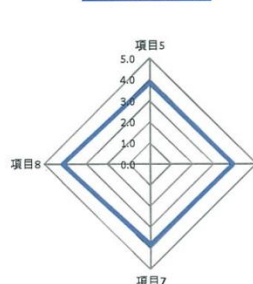
■設問項目別平均グラフ

— 短大平均

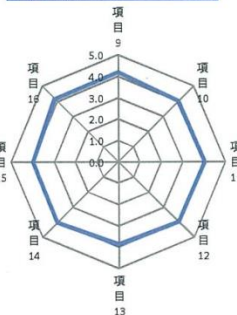
1.あなた自身について



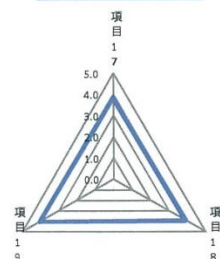
2.授業について



3.授業方法、教員について



4.教育効果について



岡崎女子短期大学

平成27年10月5日

授業担当教員 各位

大学・短大FD委員会

授業アンケートの結果報告及び自己点検報告書の提出について

先生方におかれましては、日頃より本学学生の学力向上のためにご尽力いただき、誠にありがとうございます。

さて、ご協力いただきました平成27年度前期授業アンケートの結果をご報告させていただきます。

なお、「授業アンケートによる自己点検報告書」を、10月21日（水）までに教務課へご提出くださいますようお願い申し上げます。

「授業アンケートによる自己点検報告書」の様式は、ホットビズのキャビネット「教務関係」にありますのでご利用ください。

メールで提出される場合は、教務課メールアドレス kyoumu@okazaki.ac.jp へお願いします。

【授業アンケートによる自己点検報告書】（平成27年度前期）

所 属 学 科		教 員 氏 名	
授 業 科 目 名		授 業 形 態	講義 演習 実習 実技 その他
学 年	年	ク ラ ス	
授業アンケートによる自己点検結果			
授業アンケートの結果で優れていた点			
授業アンケートの結果で改善すべき点			

平成27年12月26日

岡崎女子大学

岡崎女子短期大学 授業担当教員各位

岡崎女子大学

岡崎女子短期大学

学長 長柄孝彦

「学生による授業アンケート」（後期）の実施について

先生方におかれましては、日頃より本学学生の学力向上のためにご尽力いただき、誠にありがとうございます。

今回、アンケート結果の授業改善への活用を図ることをねらいに、下記要領により「学生による授業アンケート」を実施させていただきたいと思いますので、ご理解ご協力くださいますようお願い申し上げます。

記

1 実施目的

本学教員が自分の授業内容および授業方法を改善するために、受講生の声を聞くことを目的として実施します。

2 実施期間

後期授業の第13週から第15週の期間でお願いします。

3 実施する授業

全ての授業科目（全コマ）で実施してください。

（今回より、受講者10名未満の授業科目・ゼミも含みます。）

4 実施方法

- ・ 必要枚数分のアンケート用紙は先生方のメールボックスに配付させていただきます。
- ・ 授業時間内にアンケート回収に協力してもらえる学生を選出ください。
- ・ 回収協力の学生選出後、アンケート用紙を配付してください。
- ・ アンケート回収協力の学生に回収用の封筒を渡し、記入後のアンケートを回収させてください。（各先生は回収作業には関与しないでください）
- ・ 回収したアンケート用紙は、未使用のアンケート用紙も含めて封筒に入れ、回収協力学生に教務課まで、授業後すみやかに戻すようご指示ください。（教員自身が回収・返却をしないことを原則としています。）

5 アンケート集計結果による自己点検報告書の提出

アンケートの集計は業者に委託します。後日、その集計結果をお届けしますので、自己点検評価をし、後日配付の「授業アンケートによる自己点検報告書」を提出してください。なお、今回より提出頂いた報告書は、学修支援センターにて公表されますので、ご承知おきください。

問い合わせ先：〒444-0015

岡崎市中町1丁目8番地4

岡崎女子大学

岡崎女子短期大学 教務課 神谷

TEL(0564)28-3315

FAX(0564)28-3310

学生による授業アンケート

実施日 年 月 日

このアンケートは学生の視点を活用して、本学の授業の改善を図るためのものです。

- 調査は無記名で行い、個々の回答内容について公開されることはありません。
- 回答内容が成績に影響することはありません。
- 学生それぞれが、大学を構成する重要な一員として、本学の教育をより良いものにするという意識のもとに、率直に回答してください。
- 回答内容 (数値データ) に関しては、ファイルにまとめ、授業担当者だけでなく、学生や教職員が学修支援センターで閲覧できるようにするとともに、教育環境の改善をする上での大切な資料とします。

■ 授業科目、教員氏名、あなたの学年クラスを記入してください。

授業科目		
教員氏名		
あなたの学年クラス	年	クラス

■ 1 から 19 の設問について、5 段階評価でもっとも適切な番号に○をつけてください。

選択基準: 5 そう思う 4 少し思う
3 どちらともいえない 2 あまり思わない
1 そう思わない

【設 問 項 目】

1 あなた自身について

- | | | | | | |
|--|---|---|---|---|---|
| 1 あなたは、授業内容 (シラバス) を事前に読んでよく理解した上で授業に臨みましたか。 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 2 あなたは、この授業に積極的に参加しましたか。 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 3 この授業 1 回 (90 分) のための予習・復習に費やした時間は平均 () であった。
⑤ 4 時間以上 ④ 3 時間 ③ 2 時間 ② 1 時間
① 30 分以下 | ⑤ | ④ | ③ | ② | ① |
| 4 あなたは、授業中のマナー (私語、居眠り、携帯電話、途中入退室等) を守ることができましたか。 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |

2 授業について

- | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 5 授業内容 (シラバス) や教員の事前の説明は目標、内容、評価方法を示し、分かりやすいものでしたか。 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 6 この授業は、授業内容 (シラバス) または教員の事前の説明どおりに授業が進められましたか？ | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 7 課題の内容や量は適切でしたか。 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 8 授業内容の難易度は適切でしたか。
⑤ 非常に難しい ④ 難しい ③ 適切 ② やさしい
① 非常にやさしい | ⑤ | ④ | ③ | ② | ① |

3 授業方法、教員について

- | | | | | | |
|--|---|---|---|---|---|
| 9 教員に、授業への熱意が感じられましたか。 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 10 教員の説明は分かりやすかったですか。 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 11 教員の話し方（声の大きさ、話す速さ、メリハリ等）は適切でしたか。 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 12 黒板、教科書、ビデオ、プレゼンテーションソフト（パワーポイント等）などの使い方は適切でしたか。 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 13 教員は、質問や発言を促そうとしていましたか。 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 14 教員は、学生の発言や質問に適切に対応していましたか。 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 15 教員は、授業にふさわしくない学生の行動等に対応していましたか。 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 16 教員は、すべての学生に公正な態度で接していましたか。 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |

4 教育効果について

- | | | | | | |
|-----------------------------------|---|---|---|---|---|
| 17 あなたは、この授業の到達目標を達成することができましたか。 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 18 授業により知的に触発され、さらに深く勉強したくなりましたか。 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 19 授業は全体として満足できるものでしたか。 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |

■ 自由記述

○ この授業で評価すべき点、改善すべき点、気づいた点などについて書いてください。

○ 教室の設備や校舎の環境などについて改善を要望するようなことがありましたら書いてください。

【大学】

平成27年度後期 授業アンケート実施一覧

2016/6/17

番号	氏名	曜日	時限	クラス	アンケート実施授業科目	履修者数
1	小 宮 富 子	金	2	1T	英語総合（初級）	15
2	小 宮 富 子	火	2	2ST・3ST	英語総合（発展）	25
3	矢 藤 誠慈郎	水	2	1ST	保育者論	60
4	矢 藤 誠慈郎	火	4	2ST	教育・保育課程論	82
5	矢 藤 誠慈郎	火	5	3ST	教育経営論	63
6	矢 藤 誠慈郎	月	5	2ST	教育方法論	83
7	大岩 みちの	木	1	3ST	保育方法論	63
8	大岩 みちの	水	2	3ST	専門ゼミナールⅡ	4
9	赤羽根 有里子	火	1	1T	保育内容演習「言葉」Ⅱ	30
10	赤羽根 有里子	火	2	1S	保育内容演習「言葉」Ⅱ	30
11	赤羽根 有里子	水	2	3ST	専門ゼミナールⅡ	5
12	上 田 信 道	水	2	3ST	専門ゼミナールⅡ	3
13	上 田 信 道	金	3	1ST	文章表現法	29
14	小 川 宜 子	火	1	1S	基礎音楽Ⅱ	30
15	小 川 宜 子	火	2	1T	基礎音楽Ⅱ	31
16	小 川 宜 子	金	3	3S	幼児音楽Ⅱ	33
17	小 川 宜 子	金	4	3T	幼児音楽Ⅱ	28
18	小 川 宜 子	水	2	3ST	専門ゼミナールⅡ	4
19	小 野 隆	月	3	2ST	体育実技Ⅱ	52
20	小 野 隆	月	4	2ST	保健体育講義	84
21	小 野 隆	水	2	3ST	専門ゼミナールⅡ	3
22	小 原 倫 子	月	1	1S	教育と発達心理学Ⅱ	30
23	小 原 倫 子	月	2	1T	教育と発達心理学Ⅱ	30
24	小 原 倫 子	木	3	3S	教育・保育相談	33
25	小 原 倫 子	木	4	3T	教育・保育相談	30
26	小 原 倫 子	水	2	3ST	専門ゼミナールⅡ	4
27	岸 本 美 紀	月	3	3S	教育実習指導Ⅱ	33
28	岸 本 美 紀	月	5	3T	教育実習指導Ⅱ	31
29	岸 本 美 紀	金	1	3S	保育実習指導Ⅱ	30
30	北 浦 恒 人	火	1	1S	基礎音楽Ⅱ	30
31	北 浦 恒 人	火	2	1T	基礎音楽Ⅱ	31
32	北 浦 恒 人	水	2	3ST	専門ゼミナールⅡ	5
33	北 浦 恒 人	木	3	2S	基礎音楽Ⅳ	40
34	北 浦 恒 人	木	4	2T	基礎音楽Ⅳ	39
35	佐 善 圭	月	3	1T	造形Ⅱ	31
36	佐 善 圭	月	4	1S	造形Ⅱ	30
37	佐 善 圭	水	2	3ST	専門ゼミナールⅡ	8
38	佐 善 圭	木	2	2T	造形Ⅳ	40
39	佐 善 圭	木	4	2S	造形Ⅳ	37

【大学】

平成27年度後期 授業アンケート実施一覧

2016/6/17

番号	氏名	曜日	時限	クラス	アンケート実施授業科目	履修者数
40	白石 さや	木	5	2ST・3ST	現代文化人類学	4
41	白石 さや	金	5	3ST	専門ゼミナールⅡ	5
42	鈴木 方子	水	2	3ST	専門ゼミナールⅡ	5
43	鈴木 方子	木	3	1T	乳児保育Ⅱ	30
44	鈴木 方子	木	4	1S	乳児保育Ⅱ	30
45	鈴木 方子	金	1	3T	保育実習指導Ⅱ	24
46	中田 基昭	火	4	1ST	女性の生き方	61
47	中田 基昭	火	5	2ST	教育人間学	84
48	中田 基昭	水	2	3ST	専門ゼミナールⅡ	5
49	吉村 譲	月	4	3S	保育実習指導Ⅲ	10
50	吉村 譲	金	5	3ST	専門ゼミナールⅡ	5
51	権 絃珠	金	3	2ST	高齢社会と福祉	83
52	権 絃珠	木	1	2ST	相談援助Ⅱ	59
53	権 絃珠	金	5	3ST	専門ゼミナールⅡ	4
54	白垣 潤	木	3	3T	障がい児保育Ⅱ	30
55	白垣 潤	木	4	3S	障がい児保育Ⅱ	33
56	白垣 潤	金	5	3ST	専門ゼミナールⅡ	1
57	仲田 勝美	水	2	3ST	専門ゼミナールⅡ	2
58	仲田 勝美	金	3	2ST	高齢社会と福祉	83
59	仲田 勝美	金	5	2ST	介護技術演習	80
60	花田 経子	月	1	1T	情報処理Ⅱ	31
61	花田 経子	月	2	1S	情報処理Ⅱ	30
62	山田 光治	月	1	2T	社会的養護内容	39
63	山田 光治	金	4	2S	社会的養護内容	44
64	平尾 憲嗣	月	2	2S	声楽Ⅱ	11
65	日野水 憲	金	1	1S	英語総合（初級）	14
66	日野水 憲	金	2	1T	英語総合（初級）	15
67	鈴木 恒一	木	3	1S	保育内容演習「健康」Ⅱ	31
68	鈴木 恒一	木	4	1T	保育内容演習「健康」Ⅱ	31
69	松井 千代	金	1	1S	英語総合（初級）	16
70	山下 晋	金	1	1T	幼児体育Ⅱ	29
71	山下 晋	金	2	1S	幼児体育Ⅱ	30
72	山田 悠莉	月	5	3S	舞台表現の技術	9
73	市原 潔	木	5	1ST・2ST	数学の基礎	19
74	町田 由徳	火	2	3ST	情報メディアと表現	16
75	エドワード・バンダーア	火	2	2ST・3ST	オーラル・イングリッシュ（中級）	24
76	遠藤 幸子	火	1	2ST	子どもの保健Ⅱ	82
77	遠藤 幸子	木	2	2S	子どもの保健演習	42
78	遠藤 幸子	木	3	2T	子どもの保健演習	40

【大学】

平成27年度後期 授業アンケート実施一覧

2016/6/17

番号	氏名	曜日	時限	クラス	アンケート実施授業科目	履修者数
79	岡 本 伸 子	月	2	3T	舞台表現の技術	25
80	岡 本 伸 子	月	3	1S	コミュニケーション演習	30
81	岡 本 伸 子	月	4	1T	コミュニケーション演習	23
82	加 藤 早 苗	水	1	2S	保育内容演習「人間関係」Ⅱ	43
83	加 藤 早 苗	水	2	2T	保育内容演習「人間関係」Ⅱ	40
84	金 子 一 元	月	1	3ST	ストーリー創作の研究	21
85	功 刀 由紀子	火	3	2ST・3ST	生命の科学	3
86	虞 萍	金	2	2ST・3ST	中国語（初級）	32
87	斉 藤 安 潔	火	3	1ST・2ST	倫理学	30
88	佐 藤 由 美	木	3	2S	基礎音楽Ⅳ	40
89	佐 藤 由 美	木	4	2T	基礎音楽Ⅳ	39
90	佐部利 弦	火	1	1S	基礎音楽Ⅱ	30
91	佐部利 弦	火	2	1T	基礎音楽Ⅱ	31
92	武 田 康 代	水	1	2T	子どもの食と栄養Ⅱ	41
93	武 田 康 代	水	2	2S	子どもの食と栄養Ⅱ	42
94	西 濱 由 有	木	3	2S	基礎音楽Ⅳ	40
95	西 濱 由 有	木	4	2T	基礎音楽Ⅳ	39
96	野 田 麻 理	火	4	1ST	女性の生き方	61
97	服 部 次 郎	木	1	2ST	相談援助Ⅱ	59
98	服 部 次 郎	木	2	1ST	社会福祉論	61
99	原 田 裕 貴	木	3	2S	基礎音楽Ⅳ	40
100	原 田 裕 貴	木	4	2T	基礎音楽Ⅳ	39
101	堀 初 枝	火	1	1S	基礎音楽Ⅱ	30
102	堀 初 枝	火	2	1T	基礎音楽Ⅱ	31
103	安 林 奈緒美	水	4	1ST・2ST	社会学	4
104	山 内 敦 子	木	3	2S	基礎音楽Ⅳ	40
105	山 内 敦 子	木	4	2T	基礎音楽Ⅳ	39
106	金 昭 鏌	木	2	3ST	韓国語（初級）	10
107	久保原 信 司	火	4	3ST	ポルトガル語（初級）	7
108	金 子 佳 代	月	2	3S	家庭支援演習	11
109	金 子 佳 代	月	3	3T	家庭支援演習	8
110	吉 田 龍 宏	月	1	2S	保育内容演習「環境」Ⅱ	43
111	吉 田 龍 宏	月	2	2T	保育内容演習「環境」Ⅱ	34
112	本 山 益 子	金	3	3T	保育内容演習「表現」Ⅱ	31
113	本 山 益 子	金	4	3S	保育内容演習「表現」Ⅱ	26
114	麓 洋介	金	3	3S	幼児音楽Ⅱ	31
115	麓 洋介	金	4	3T	幼児音楽Ⅱ	26

平成27年度後期 授業アンケート実施一覧

2016/6/17

【短大】

番号	氏名	曜日	時限	クラス	アンケート実施授業科目	履修者数
1	長 柄 孝 彦	月	5	1C	パフォーミングボディⅡ	43
2	大 岩 みちの	月	2	1CD	保育課程論	87
3	大 岩 みちの	月	5	1AB	保育課程論	92
4	赤羽根 有里子	火	3	2C	児童文化演習Ⅱ	42
5	上 田 信 道	金	5	1CD	児童文学	25
6	上 田 信 道	火	4	2D	児童文化演習Ⅱ	35
7	小 野 隆	火	5	1ABCD	レクリエーション概論	66
8	小 野 隆	集中		2ABCD・2EG	レクリエーション実習	60
9	小 原 倫 子	金	5	1AB	幼児理解の理論と方法	94
10	岸 本 美 紀	月	4	1CD	幼児理解の理論と方法	88
11	岸 本 美 紀	火	1	2G	保育内容演習（人間関係）	39
12	岸 本 美 紀	火	2	2E	保育内容演習（人間関係）	45
13	岸 本 美 紀	火	4	1A	保育表現演習	46
14	北 浦 恒 人	金	1	2G	幼児音楽Ⅱ	39
15	白 石 さ や	金	2	1ABCD	人間と環境	1
16	鈴 木 方 子	土	1	1EG	幼児理解の理論と方法	87
17	鈴 木 方 子	木	2	1E	教育実習（事前・事後指導を含む）	42
18	中 田 基 昭	水	1	1EG	保育者論	86
19	吉 村 譲	月	2	2B	相談援助	43
20	吉 村 譲	月	1	1A	保育実習指導Ⅰ（施設）	46
21	吉 村 譲	金	3	2C	社会的養護内容	44
22	吉 村 譲	木	1	3G	保育相談支援	42
23	吉 村 譲	木	2	3E	保育相談支援	44
24	権 洵 珠	火	2	2C	相談援助	43
25	権 洵 珠	火	4	2A	相談援助	47
26	権 洵 珠	木	4	1C	保育実習指導Ⅰ（施設）	43
27	権 洵 珠	木	2	1G	基礎演習Ⅱ	44
28	白 垣 潤	火	4	2B	障害児保育Ⅱ	44
29	白 垣 潤	木	2	2G	障害児保育Ⅱ	29
30	白 垣 潤	金	3	2D	保育カウンセリング	40
31	山 田 光 治	土	1	2G	保育実習指導Ⅰ（施設）	39
32	鳥 居 恵 治	月	1	1D	幼児体育Ⅱ	44
33	鳥 居 恵 治	月	2	3EG	健康とスポーツ（講義）	84
34	鳥 居 恵 治	火	1	2E	幼児体育Ⅱ	44
35	鳥 居 恵 治	水	2	1ABCD・2EG	子どもの研究Ⅰ	20
36	鳥 居 恵 治	金	1・2	2ABCD	教職実践演習（幼稚園）	171
37	鳥 居 恵 治	金	4	2ABCD	健康とスポーツ（演習）	18

【短大】

平成27年度後期 授業アンケート実施一覧

2016/6/17

番号	氏名	曜日	時限	クラス	アンケート実施授業科目	履修者数
38	平 尾 憲 嗣	月	1	1E	基礎音楽Ⅱ	42
39	平 尾 憲 嗣	月	4	1B	基礎音楽Ⅱ	46
40	平 尾 憲 嗣	火	3	2A	幼児音楽Ⅱ	46
41	平 尾 憲 嗣	水	2	1ABCD・2EG	子どもの研究Ⅰ	20
42	平 尾 憲 嗣	金	1・2	3EG	教職実践演習(幼稚園)	87
43	鈴 木 恒 一	月	1	1B	保育実習指導Ⅰ(保育所)	43
44	鈴 木 恒 一	月	4	2B	保育内容演習(環境)	43
45	鈴 木 恒 一	水	2	1ABCD・2EG	子どもの研究Ⅰ	18
46	鈴 木 恒 一	木	5	1A	保育実習指導Ⅰ(保育所)	46
47	松 井 千 代	火	1	1D	外国語コミュニケーションⅡ	44
48	松 井 千 代	火	2	2G	保育表現演習	39
49	松 井 千 代	火	4	2MP	観光英語	11
50	松 井 千 代	水	2	1ABCD・2EG	子どもの研究Ⅰ	18
51	松 井 千 代	木	1	1B	外国語コミュニケーションⅡ	46
52	松 井 千 代	木	2	1MP	英語検定講座Ⅰ	20
53	松 井 千 代	金	3	1M	英語Ⅱ	20
54	笹 瀬 佐代子	火	5	1MP	秘書検定講座	43
55	笹 瀬 佐代子	木	1	1MP	ビジネス文書	54
56	笹 瀬 佐代子	木	2	2MP	専門ゼミナールⅢ	8
57	梅 下 弘 樹	火	3	2D	障害児保育Ⅱ	40
58	梅 下 弘 樹	水	2	1ABCD・2EG	子どもの研究Ⅰ	17
59	梅 下 弘 樹	木	3	2C	保育カウンセリング	43
60	梅 下 弘 樹	木	4	2A	保育カウンセリング	44
61	梅 下 弘 樹	木	5	1C	保育表現演習	44
62	梅 下 弘 樹	金	1	2E	障害児保育Ⅱ	43
63	梅 下 弘 樹	金	3	2B	保育カウンセリング	43
64	鈴 木 文 代	水	2	1G	乳児保育Ⅱ	44
65	鈴 木 文 代	金	1・2	2ABCD	教職実践演習(幼稚園)	171
66	鈴 木 文 代	金	1・2	2AB	教育実習	87
67	鈴 木 穂 波	水	2	1ABCD・2EG	子どもの研究Ⅰ	18
68	鈴 木 穂 波	木	3	2B	児童文化演習Ⅱ	48
69	鈴 木 穂 波	木	4	1AB	児童文学	23
70	鈴 木 穂 波	金	2	2E	保育表現演習	43
71	鈴 木 穂 波	金	3	2A	児童文化演習Ⅱ	46
72	妹 尾 美智子	月	2	1G	基礎音楽Ⅱ	44
73	妹 尾 美智子	月	3	1D	基礎音楽Ⅱ	44
74	妹 尾 美智子	月	4	1B	基礎音楽Ⅱ	46
75	妹 尾 美智子	火	4	2C	幼児音楽Ⅱ	43
76	妹 尾 美智子	火	5	2B	幼児音楽Ⅱ	44
77	妹 尾 美智子	水	2	1ABCD・2EG	子どもの研究Ⅰ	15
78	妹 尾 美智子	木	5	2D	幼児音楽Ⅱ	40

平成27年度後期 授業アンケート実施一覧

2016/6/17

【短大】

番号	氏名	曜日	時限	クラス	アンケート実施授業科目	履修者数
79	滝沢 ほだか	火	4	2C	幼児音楽Ⅱ	43
80	滝沢 ほだか	火	5	2B	幼児音楽Ⅱ	44
81	滝沢 ほだか	水	2	1ABCD・2EG	子どもの研究Ⅰ	17
82	滝沢 ほだか	木	1	2E	幼児音楽Ⅱ	44
83	滝沢 ほだか	木	2	1C	基礎音楽Ⅱ	43
84	滝沢 ほだか	金	1・2	2ABCD	教職実践演習（幼稚園）	171
85	戸田 順子	火	1	3G	社会的養護内容	44
86	戸田 順子	火	2	3E	社会的養護内容	41
87	戸田 順子	水	2	1ABCD・2EG	子どもの研究Ⅰ	11
88	戸田 順子	木	1	1D	保育表現演習	44
89	戸田 順子	木	2	2D	社会的養護内容	40
90	戸田 順子	木	4	2B	社会的養護内容	43
91	戸田 順子	金	1	1EG	児童家庭福祉	86
92	野田 美樹	月	1	1G	教育実習（事前・事後指導を含む）	44
93	野田 美樹	水	2	1ABCD・2EG	子どもの研究Ⅰ	20
94	野田 美樹	木	1	1EG	保育課程論	86
95	野田 美樹	金	1・2	2CD	教育実習	83
96	野田 美樹	金	1・2	3EG	教職実践演習（幼稚園）	87
97	真木 弘	月	1	2MP	健康とスポーツ（講義）	31
98	真木 弘	月	2	2MP	健康とスポーツ（実技）Ⅱ	27
99	真木 弘	水	1	2AB	健康とスポーツ（講義）	89
100	真木 弘	水	2	2CD	健康とスポーツ（講義）	82
101	山下 晋	火	2	1B	保育表現演習	46
102	山下 晋	水	2	1ABCD・2EG	子どもの研究Ⅰ	20
103	山下 晋	木	1	2G	幼児体育Ⅱ	40
104	山下 晋	木	3	1B	幼児体育Ⅱ	50
105	山下 晋	金	4	2ABCD	健康とスポーツ（演習）	18
106	山田 悠莉	金	4	2ABCD	健康とスポーツ（演習）	18
107	山田 悠莉	水	2	1ABCD・2EG	子どもの研究Ⅰ	18
108	山田 悠莉	木	3	1D	パフォーマンスボディⅡ	44
109	山田 悠莉	木	5	1B	パフォーマンスボディⅡ	46
110	山田 悠莉	金	1・2	2ABCD	教職実践演習（幼稚園）	171
111	横田 典子	水	2	1ABCD・2EG	子どもの研究Ⅰ	18
112	横田 典子	木	2	1B	幼児造形Ⅰ	46
113	横田 典子	木	3	1C	幼児造形Ⅰ	44
114	横田 典子	木	4	1D	幼児造形Ⅰ	44
115	横田 典子	金	1・2	2ABCD	教職実践演習（幼稚園）	171
116	米窪 洋介	月	3	1A	幼児造形Ⅰ	47
117	米窪 洋介	火	1	1G	幼児造形Ⅰ	44
118	米窪 洋介	火	2	1E	幼児造形Ⅰ	42
119	米窪 洋介	水	2	1ABCD・2EG	子どもの研究Ⅰ	20
120	米窪 洋介	金	1・2	3EG	教職実践演習（幼稚園）	87

【短大】

平成27年度後期 授業アンケート実施一覧

2016/6/17

番号	氏名	曜日	時限	クラス	アンケート実施授業科目	履修者数
121	築山高彦	月	2	2A	社会的養護内容	44
122	築山高彦	月	4	2D	相談援助	42
123	築山高彦	水	1	2E	保育実習指導Ⅰ（施設）	43
124	築山高彦	木	2	1D	保育実習指導Ⅰ（施設）	44
125	西川由美子	月	5	1D	保育実習指導Ⅰ（保育所）	44
126	西川由美子	火	1	1C	保育実習指導Ⅰ（保育所）	43
127	西川由美子	水	1	2C	保育内容演習（環境）	48
128	西川由美子	水	2	2A	保育内容演習（環境）	45
129	中村治人	月	1	3EG	教育方法論	87
130	中村治人	火	3	1AB	教育原理	99
131	中村治人	火	4	1CD	教育原理	92
132	中村治人	水	2	1ABCD・2EG	子どもの研究Ⅰ	11
133	中村治人	木	2	2AB	教育制度・政策論	87
134	中村治人	木	4	2CD	教育制度・政策論	83
135	後藤直美	水	1	2G	保育実習指導Ⅰ（保育所）	39
136	後藤直美	木	3	2D	保育内容演習（環境）	35
137	後藤直美	土	1	2E	保育実習指導Ⅰ（保育所）	43
138	仲田勝美	月	2	1E	基礎演習Ⅱ	42
139	仲田勝美	月	3	1B	保育実習指導Ⅰ（施設）	46
140	仲田勝美	木	2	2E	相談援助	44
141	仲田勝美	金	2	2G	相談援助	37
142	市原潔	月	3	2MP	情報処理Ⅱ	27
143	市原潔	火	3	1MP	経営実務演習Ⅰ	60
144	市原潔	火	4	1MP	現代ビジネスゼミナール	60
145	市原潔	水	2	2MP	図書館情報技術論	4
146	市原潔	木	3	1MP	専門ゼミナールⅠ	9
147	河合晋	月	2	1M	簿記原理Ⅱ	26
148	河合晋	月	4	1MP	簿記検定講座Ⅱ	42
149	河合晋	火	1	2MP	上級簿記Ⅱ	10
150	河合晋	水	2	1P	簿記原理Ⅱ	24
151	河合晋	木	2	2MP	専門ゼミナールⅢ	16
152	河合晋	木	3	1MP	専門ゼミナールⅠ	17
153	黒野伸子	火	1	1MP	診療報酬請求論Ⅱ	25
154	黒野伸子	火	2	1MP	診療報酬請求実務Ⅰ	26
155	黒野伸子	木	1	2MP	専門ゼミナールⅢ	16
156	黒野伸子	木	3	1MP	専門ゼミナールⅠ	17
157	黒野伸子	木	5	2MP	診療報酬資格講座	24
158	黒野伸子	金	2	1MP	医事法制	30
159	黒野伸子	金	4	2MP	医療管理学概論	30

【短大】

平成 2 7 年度後期 授業アンケート実施一覧

2016/6/17

番号	氏名	曜日	時限	クラス	アンケート実施授業科目	履修者数
160	祝 田 学	月	1	1MP	経営戦略	36
161	祝 田 学	月	3	1MP	マーケティング・リサーチ	37
162	祝 田 学	月	4	2MP	経営情報	17
163	祝 田 学	火	4	1MP	現代ビジネスゼミナール	60
164	祝 田 学	火	5	2MP	経営史	9
165	祝 田 学	木	2	2MP	専門ゼミナールⅢ	13
166	祝 田 学	木	3	1MP	専門ゼミナールⅠ	8
167	町 田 由 徳	火	3	1MP	経営実務演習Ⅰ	60
168	町 田 由 徳	火	4	1MP	現代ビジネスゼミナール	60
169	町 田 由 徳	木	2	2MP	専門ゼミナールⅢ	6
170	町 田 由 徳	木	3	1MP	専門ゼミナールⅠ	9
171	町 田 由 徳	金	1	1MP	CADオペレーションⅠ	21
172	町 田 由 徳	金	2	1MP	ユニバーサルデザイン	15
173	町 田 由 徳	金	3	2MP	住空間・インテリアデザイン論	19
174	竹 本 行 雄	金	1	1ABCD	日本語表現(1限)	45
175	竹 本 行 雄	金	2	1ABCD	日本語表現(2限)	47
176	日野水 憲	月	2	1P	英語Ⅱ	11
177	日野水 憲	木	3	2MP	外国語コミュニケーションⅡ	10

【短大】

平成27年度後期 授業アンケート実施一覧

2016/6/17

番号	氏名	曜日	時限	クラス	アンケート実施授業科目	履修者数
178	青 山 弘	水	4	1MP・2MP	情報資源組織論	28
179	青 山 弘	水	5	1MP・2MP	図書館情報資源概論	25
180	池 和 子	木	1	1C	外国語コミュニケーションⅡ	43
181	池 和 子	木	2	1A	外国語コミュニケーションⅡ	46
182	石 川 澄 江	木	1	2MP	医療コンピュータ実務	24
183	市 川 恭 子	水	1	1A	基礎音楽Ⅱ	46
184	市 川 恭 子	木	1	2E	幼児音楽Ⅱ	44
185	市 川 恭 子	金	1	2G	幼児音楽Ⅱ	39
186	岩 田 愛	金	1	1ABCD	女性の自立と人権（1限目）	42
187	岩 田 愛	金	2	1ABCD	女性の自立と人権（2限目）	29
188	エドワード・バンダーアー	火	1	2ABCD	英語Ⅱ	4
189	遠 藤 幸 子	火	2	2AB	子どもの保健Ⅱ	91
190	太 田 二 郎	月	1	2A	保育相談支援	49
191	太 田 二 郎	月	2	2C	保育相談支援	43
192	太 田 富士子	月	1	1C	乳児保育Ⅱ	44
193	太 田 富士子	月	2	1A	乳児保育Ⅱ	46
194	岡 田 摩 紀	土	2	1EG	レクリエーション概論	37
195	岡 本 純	金	1	2MP	消費者心理	16
196	岡 本 純	金	2	2MP	商品学	18
197	小 野 隆 司	月	1	1E	基礎音楽Ⅱ	42
198	小 野 隆 司	月	2	1G	基礎音楽Ⅱ	44
199	小 野 隆 司	月	3	1D	基礎音楽Ⅱ	44
200	加 藤 早 苗	火	1	1AB	指導法の研究	92
201	川 口 勇 作	火	1	1E	情報基礎演習Ⅱ	42
202	川 口 勇 作	火	2	1G	情報基礎演習Ⅱ	43
203	川 口 勇 作	木	5	1D	情報基礎演習Ⅱ	44
204	草 薙 邦 広	火	3	2MP	生活と統計	9
205	後 藤 亜 希	木	1	3E	外国語コミュニケーションⅡ	42
206	後 藤 亜 希	木	2	3G	外国語コミュニケーションⅡ	42
207	佐 藤 和 子	木	3	1A	パフォーマンスボディⅡ	46
208	竹 内 典 夫	金	1	1ABCD	日本国憲法（1限）	44
209	竹 内 典 夫	金	2	1ABCD	日本国憲法（2限）	45
210	竹 内 典 夫	土	2	2EG	日本国憲法	83
211	田 中 秀 吉	火	1	3E	子どもの食と栄養Ⅱ	44
212	田 中 秀 吉	火	2	3G	子どもの食と栄養Ⅱ	41
213	戸 谷 百合子	月	1	2EG	子どもの保健Ⅰ	82
214	戸 谷 百合子	月	2	2EG	子どもの保健Ⅱ	82
215	戸 谷 百合子	月	3	2CD	子どもの保健Ⅱ	84
216	飛 石 眞理子	土	1	1MP・2MP	情報サービス演習	24
217	飛 石 眞理子	土	2	2MP	情報サービス論	4

【短大】

平成 2 7 年度後期 授業アンケート実施一覧

2016/6/17

番号	氏名	曜日	時限	クラス	アンケート実施授業科目	履修者数
218	鳥 当 法 子	木	2	2C	子どもの食と栄養Ⅱ	43
219	鳥 当 法 子	木	3	2A	子どもの食と栄養Ⅱ	45
220	中 田 伸 江	火	2	1A	幼児体育Ⅱ	46
221	中 田 伸 江	火	3	1C	幼児体育Ⅱ	43
222	野 田 耕 平	金	3	1P	情報基礎演習Ⅱ	23
223	野 田 耕 平	金	4	1M	情報基礎演習Ⅱ	19
224	原 田 裕 貴	月	2	1G	基礎音楽Ⅱ	44
225	原 田 裕 貴	木	5	2D	幼児音楽Ⅱ	40
226	平 岩 ふみよ	月	3	2A	障害児保育Ⅱ	44
227	平 岩 ふみよ	月	4	2C	障害児保育Ⅱ	43
228	古 川 芳 子	水	2	3EG	女性の自立と人権	87
229	細 江 逸 雄	火	2	2D	保育相談支援	40
230	細 江 逸 雄	火	3	2B	保育相談支援	38
231	細 江 逸 雄	水	1	3EG	家庭支援論	86
232	堀 初 枝	火	3	2A	幼児音楽Ⅱ	46
233	堀 初 枝	金	1	2G	幼児音楽Ⅱ	39
234	本 田 美 香	木	1	2E	幼児音楽Ⅱ	44
235	本 田 美 香	木	2	1C	基礎音楽Ⅱ	43
236	松 下 幸 子	火	3	1D	乳児保育Ⅱ	44
237	松 下 幸 子	火	4	1B	乳児保育Ⅱ	46
238	松 本 亜 実	月	2	1B	情報基礎演習Ⅱ	46
239	松 本 亜 実	月	3	1C	情報基礎演習Ⅱ	44
240	松 本 亜 実	月	4	1A	情報基礎演習Ⅱ	46
241	松 本 亜 実	月	5	1MP	コンピュータ資格講座Ⅰ	33
242	山 内 敦 子	月	1	1E	基礎音楽Ⅱ	42
243	山 内 敦 子	水	1	1A	基礎音楽Ⅱ	46
244	山 崎 千恵子	火	2	1CD	指導法の研究	87
245	山 田 千穂子	水	1	1P	秘書実務Ⅰ	29
246	山 田 千穂子	水	2	1M	秘書実務Ⅰ	32
247	伊 藤 貴 啓	金	3	1AB	児童家庭福祉	94
248	伊 藤 貴 啓	金	4	1CD	児童家庭福祉	87
249	熊 崎 稔 子	月	2	2D	子どもの食と栄養Ⅱ	40
250	熊 崎 稔 子	月	3	2B	子どもの食と栄養Ⅱ	43
251	杉 山 洋 子	水	2	1E	乳児保育Ⅱ	42
252	龍 祐 吉	金	2	1EG	発達と教育の心理学	86
253	龍 祐 吉	金	3	1CD	発達と教育の心理学	87
254	龍 祐 吉	金	4	1AB	発達と教育の心理学	96
255	桂 安 治	木	4	2MP	金融論	26

2015年度後期 学生による授業アンケート集計結果

全体集計 (大学)

■受講者数 3,627名
■回答者数 2,715名
■回答率 74.9%

※無回答・重複回答は集計対象外

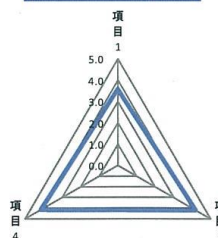
大項目	項目	大学平均	肯定回答率	割合					件数					合計	
				⑤ そう思う	④ 少し思う	③ いえない	② どちらとも	① ない	⑤ そう思う	④ 少し思う	③ いえない	② どちらとも	① ない		
1 あなた自身について	1 あなたは、授業内容(シラバス)を事前に読んでよく理解した上で授業に臨みましたか。	3.58	49.8%	19.2%	30.5%	42.7%	4.3%	3.3%	521	827	1,155	116	89	2,708	<div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div></div>
	2 あなたは、この授業に積極的に参加しましたか。	4.21	75.8%	48.4%	27.4%	21.5%	2.0%	0.7%	1,306	740	580	54	20	2,700	<div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div></div>
	3 この授業1回(90分)のための予習・復習に費やした平均時間※	-	-	3.8%	4.2%	14.4%	28.7%	48.8%	102	115	390	778	1,322	2,707	<div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div></div>
	4 あなたは、授業中のマナーを守ることができましたか。	4.15	73.8%	46.3%	27.6%	22.1%	3.4%	0.7%	1,253	746	598	91	19	2,707	<div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div></div>
2 授業について	5 授業内容(シラバス)や教員の事前の説明は目標、内容、評価方法を示し、分かりやすいものでしたか。	4.01	69.5%	34.2%	35.3%	27.9%	2.1%	0.4%	926	957	755	58	12	2,708	<div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div></div>
	6 この授業は、授業内容(シラバス)または教員の事前の説明とおりに授業が進められましたか？	4.08	72.7%	37.9%	34.8%	25.1%	1.6%	0.6%	1,026	944	680	43	16	2,709	<div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div></div>
	7 課題の内容や量は適切でしたか。	3.93	65.7%	34.9%	30.8%	28.2%	4.4%	1.7%	945	835	765	118	46	2,709	<div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div></div>
	8 授業内容の難易度は適切でしたか。 ※	4.17	-	6.6%	22.5%	67.5%	2.7%	0.8%	178	609	1,827	72	22	2,708	<div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div></div>
3 授業方法、教員について	9 教員に、授業への熱意が感じられましたか。	4.37	84.5%	54.7%	29.8%	13.8%	1.3%	0.4%	1,480	808	375	34	11	2,708	<div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div></div>
	10 教員の説明は分かりやすかったですか。	4.20	77.8%	46.8%	31.0%	17.9%	3.6%	0.7%	1,268	839	484	97	20	2,708	<div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div></div>
	11 教員の話し方(声の大きさ、話す速さ、メリハリ等)は適切でしたか。	4.23	78.2%	49.5%	28.7%	17.8%	3.0%	1.0%	1,341	777	482	82	26	2,708	<div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div></div>
	12 黒板、教科書、ビデオ、プレゼンテーションソフト(パワーポイント等)などの使い方は適切でしたか。	4.18	75.6%	46.5%	29.1%	21.0%	2.5%	0.8%	1,259	788	569	69	21	2,706	<div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div></div>
	13 教員は、質問や発言を促そうとしていましたか。	4.18	75.4%	47.3%	28.1%	20.9%	3.0%	0.6%	1,281	760	566	82	17	2,706	<div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div></div>
	14 教員は、学生の発言や質問に適切に対応していましたか。	4.30	80.1%	52.1%	27.9%	18.0%	1.4%	0.5%	1,411	756	488	37	14	2,706	<div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div></div>
	15 教員は、授業にふさわしくない学生の行動等に対応していましたか。	4.21	75.0%	48.9%	26.1%	22.9%	1.6%	0.6%	1,323	706	620	42	16	2,707	<div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div></div>
	16 教員は、すべての学生に公正な態度で接していましたか。	4.34	80.5%	55.8%	24.7%	17.7%	1.3%	0.6%	1,510	668	478	34	16	2,706	<div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div></div>
4 教育効果について	17 あなたは、この授業の到達目標を達成することができましたか。	3.86	63.2%	27.3%	35.9%	33.5%	2.6%	0.7%	738	971	905	71	20	2,705	<div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div></div>
	18 授業により知的に触発され、さらに深く勉強したくなりましたか。	4.00	68.3%	35.5%	32.8%	28.2%	2.9%	0.6%	959	887	761	79	17	2,703	<div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div></div>
	19 授業は全体として満足できるものでしたか。	4.08	72.2%	39.8%	32.4%	24.2%	2.9%	0.7%	1,076	876	655	78	20	2,705	<div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div></div>

※項目3は⑤4時間以上、④3時間、③2時間、②1時間、①30分以下、項目8は⑤非常に難しい、④難しい、③適切、②やさしい、①非常にやさしい
平均:「⑤そう思う」「③適切」を5点、「④少し思う」「⑤非常に難しい」を4点、「③どちらともいえない」「②やさしい」を3点、「②あまり思わない」「④難しい」を2点、「①そう思わない」「①非常にやさしい」を1点として加重平均

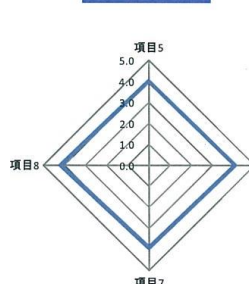
■設問項目別平均グラフ

— 大学平均

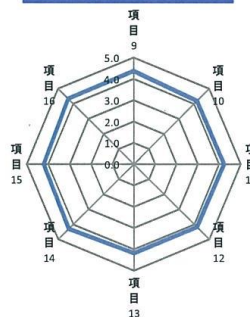
1.あなた自身について



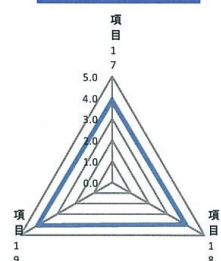
2.授業について



3.授業方法、教員について



4.教育効果について



2015年度後期 学生による授業アンケート集計結果

全体集計 (短大)

■受講者数 11,300名
■回答者数 8,788名
■回答率 77.8%

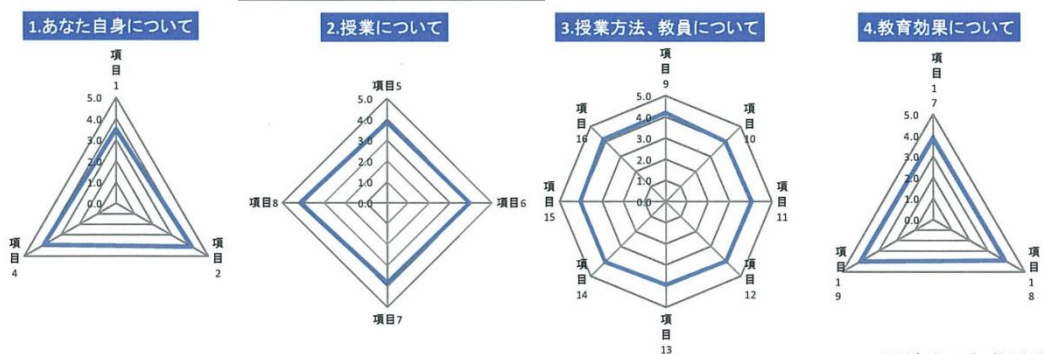
※無回答・重複回答は集計対象外

大項目	項目	短大平均	肯定回答率	割合					件数					合計	
				⑤ そう 思う	④ 少し 思う	③ どちら とも	② あまり 思わ ない	① そう 思わ ない	⑤ そう 思う	④ 少し 思う	③ どちら とも	② あまり 思わ ない	① そう 思わ ない		
1 あなた自身について	1 あなたは、授業内容(シラバス)を事前に読んでよく理解した上で授業に臨みましたか。	3.51	47.6%	16.8%	30.9%	42.6%	6.2%	3.6%	1,471	2,709	3,734	546	315	8,775	
	2 あなたは、この授業に積極的に参加しましたか。	4.11	74.1%	39.5%	34.6%	23.6%	1.7%	0.5%	3,461	3,032	2,069	151	45	8,758	
	3 この授業1回(90分)のための予習・復習に費やした平均時間※	-	-	5.2%	6.0%	16.9%	23.6%	48.3%	451	526	1,479	2,066	4,233	8,755	
	4 あなたは、授業中のマナーを守ることができましたか。	3.94	66.1%	33.2%	32.9%	29.6%	3.4%	0.9%	2,912	2,889	2,593	301	75	8,770	
2 授業について	5 授業内容(シラバス)や教員の事前の説明は目標、内容、評価方法を示し、分かりやすいものでしたか。	3.86	62.7%	28.5%	34.2%	33.1%	3.1%	1.1%	2,498	3,003	2,901	270	96	8,768	
	6 この授業は、授業内容(シラバス)または教員の事前の説明どおりに授業が進められましたか？	3.93	65.7%	31.1%	34.6%	31.6%	1.9%	0.8%	2,732	3,034	2,769	169	68	8,772	
	7 課題の内容や量は適切でしたか。	3.84	61.1%	31.8%	29.3%	31.8%	5.2%	1.9%	2,786	2,570	2,788	457	166	8,767	
	8 授業内容の難易度は適切でしたか。	4.14	-	7.9%	22.6%	65.6%	2.7%	1.3%	689	1,979	5,737	235	111	8,751	
3 授業方法、教員について	9 教員に、授業への熱意が感じられましたか。	4.19	77.6%	44.8%	32.8%	19.7%	2.0%	0.7%	3,911	2,870	1,719	179	60	8,739	
	10 教員の説明は分かりやすかったですか。	4.00	70.1%	39.0%	31.1%	22.7%	5.0%	2.2%	3,412	2,717	1,980	438	192	8,739	
	11 教員の話し方(声の大きさ、話す速さ、メリハリ等)は適切でしたか。	4.05	71.4%	41.5%	29.9%	22.4%	4.6%	1.6%	3,621	2,615	1,957	405	136	8,734	
	12 黒板、教科書、ビデオ、プレゼンテーションソフト(パワーポイント等)などの使い方は適切でしたか。	4.01	69.1%	38.6%	30.4%	25.6%	4.0%	1.4%	3,378	2,659	2,236	349	118	8,740	
	13 教員は、質問や発言を促そうとしていましたか。	3.94	65.7%	35.5%	30.1%	28.9%	3.9%	1.5%	3,102	2,634	2,529	337	135	8,737	
	14 教員は、学生の発言や質問に適切に対応していましたか。	4.05	70.5%	39.8%	30.7%	25.7%	2.7%	1.1%	3,475	2,680	2,242	239	97	8,733	
	15 教員は、授業にふさわしくない学生の行動等に適切に対応していましたか。	4.03	68.8%	38.2%	30.6%	27.9%	2.4%	0.9%	3,341	2,672	2,437	207	79	8,736	
	16 教員は、すべての学生に公正な態度で接していましたか。	4.14	72.7%	44.6%	28.1%	25.0%	1.6%	0.8%	3,890	2,454	2,183	136	67	8,730	
4 教育効果について	17 あなたは、この授業の到達目標を達成することができましたか。	3.86	63.9%	26.4%	37.4%	33.0%	2.5%	0.7%	2,306	3,285	2,877	218	59	8,725	
	18 授業により知的に触発され、さらに深く勉強したくなりましたか。	3.93	66.2%	32.4%	33.9%	29.5%	2.9%	1.3%	2,822	2,955	2,577	255	114	8,723	
	19 授業は全体として満足できるものでしたか。	4.01	69.2%	36.8%	32.5%	27.0%	2.5%	1.3%	3,205	2,831	2,353	217	113	8,719	

※項目3は⑤4時間以上、④3時間、③2時間、②1時間、①30分以下、項目8は⑤非常に難しい、④難しい、③適切、②やさしい、①非常にやさしい

平均:「⑤そう思う」を5点、「③適切」を3点、「④少し思う」「⑤非常に難しい」を4点、「③どちらともいえない」「②やさしい」を3点、「②あまり思わない」「④難しい」を2点、「①そう思わない」「①非常にやさしい」を1点として加重平均

■設問項目別平均グラフ



岡崎女子短期大学

【授業アンケートによる自己点検報告書】（平成 2 7 年度後期）

所 属 学 科		教 員 氏 名	
授 業 科 目 名		授 業 形 態	講義 演習 実習 実技 その他
学 年	年	ク ラ ス	
<p>【授業アンケートによる自己点検結果】</p> <p>※前回のアンケート結果を受けて、今年度新たに“改善を試みた点”および今回の授業アンケート結果で“優れていた点・改善すべき点”を中心に記入してください。</p>			

4. F D 研修会関係

平成 2 7 年度は計 3 回の F D 研修会を開催した。

前期に実施した内容とその結果を示す資料を次頁以降に掲載する。

実施日と主な内容や実施した成果を示す資料を次頁以降に掲載する。

本年、初めての試みとして【F D 勉強会】を 2 度開催した。

なお、各研修・勉強会の参加人数は以下の通りであった。（非常勤講師も含む。）

第 1 回研修会（ 1 0 月 2 1 日）	3 5 名
第 2 回研修会（ 1 2 月 1 6 日）	4 0 名
第 3 回研修会（ 2 月 2 9 日）	5 5 名

第 1 回勉強会（ 6 月 1 7 日）	1 8 名
第 2 回勉強会（ 8 月 1 9 日）	1 5 名

平成27年度 第1回FD研修会ワーキンググループ 議事録

1. 日 時：平成27年5月13日（水）14:50～16:10

2. 場 所：2713 会議室

3. 出席者：【教員】小宮、山田光、矢藤、米窪（記録）

【職員】花原

4. 審議事項

1) FD研修会ワーキンググループの主担当者について

米窪が主担当者を務めることが決定した。

2) 研修会の開催について

①研修会の方法・回数

今年度は義務的・任意的な研修会を平行して催し、教職員参加の研修会を年度内に3回、任意参加の研修会（勉強会）を月に1回（程度）、計画することとなった。

②研修会の時期・内容（全体研修会）

時期は、10月、12月、3月の3回を予定し、外部講師の講演は学科会議前に行えるよう手配する。

内容は、外部講師または専任教職員による講演・グループワーク・ディスカッションを行う。

なお、外部講師の講演は早稲田大学教授の向後千春先生に依頼し、調整を図ることを委員会に提案することとした。学内教職員による講演は今後検討していく。

学外講師費については、交通費を含め10万円以内とすることが了承された。

③研修会の時期・内容（勉強会）

月に1回程度（水曜日17:00～18:00頃）の任意に基づき出席できる勉強会を予定。

内容は、教材を元にした指導スキルの向上を図る他、教職員から募集したテーマを元に学内から講師を選定して意見交換を行う。

勉強会の中では、講演依頼を行う向後先生のテキストを用い教授法の向上を図るため、学長にテキストの購入を相談してみる。

* 第1回勉強会 6月17日（水）17:00～18:00を予定。

* 勉強会の案内は非常勤講師室にも掲示し、非常勤の先生にも参加して頂けるよう手配を行う。

5. 確認事項

1) 研修会の出欠席について

FD研修会においては出欠を取り、参加人数の把握を徹底する。

2) 会議日程について

審議・報告事項の内容によって、随時調整することとなった。

以上

岡崎女子大学・岡崎女子短期大学 平成27年度第1回FD研修会

学生アンケートの結果と活用 -授業改善に繋げる具体的方法について-

■ 日 時：平成27年10月21日（水）16:00～17:30

■ 場 所：ラーニングプラザ

■ 目的及び内容

本年のFD活動の取組では、授業アンケートの結果を元に自らの授業について振り返りを行い、改善すべき点について、具体的な指導法を検討していくことをねらいとしています。

そのため、まず授業アンケートの活用について本学教員の白垣先生より授業アンケートの結果と統計処理から窺える今後の活用方法についてレクチャーをいただきます。

その後、今回（平成27年度前期授業アンケート）のアンケートの結果を元にグループワークにより実際の改善策を検討していきます。

■ 内容とスケジュール

（全体の進行：米窪FD委員）

- | | |
|-----------------------------|----------------|
| 1. はじめの言葉と挨拶 | 山田 光治（短大FD委員） |
| 2. 授業アンケートについて | 白垣 潤 先生 |
| 3. グループワーク
・授業の改善点について検討 | 矢藤 誠慈郎（大学FD委員） |
| 4. まとめと終わりの言葉 | 小宮 富子（大学FD委員） |

以上

平成 27 年 11 月 18 日

FD 委員会・FD 研修会担当

授業改善についての検討 -FD 研修会におけるグループワーク報告- (速報)

[授業の改善点について検討結果]

「1. あなたは授業内容を事前に読んでよく理解した上で授業に臨みましたか。」

- ・ シラバスのところだけが 3 点台。
- ・ [改善策] 文の改正「事前に」。
- ・ シラバス、四大⇔短大 同じ内容だが厳しめの評価という印象
- ・ シラバスが課題だという意見が多かった。
- ・ 「シラバスとは何か」分かっているのか？
- ・ 初回の説明が必要。
- ・ シラバスと受講上の注意（ルール）を印刷して配付している。学生の手元にも残り、授業の到達、目標が明確。
- ・ 教務ガイダンスにおいて学生にシラバスの必要性、重要性などを伝える。また、授業開始後も定期的（3～5回）にシラバスを読み、理解を深めるよう指導する。このことで、学生の予習、復習へと繋げていく。
- ・ 選択科目について実際に活用されているのか？

「2. あなたはこの授業に積極的に参加しました。」

- * 態度と意欲が違う学生に、受け身な学生に対して
- ・ 学生に発信させる（質問ノート）アクティブさせることとコントロールすること。
- ・ コントロールが難しくなる。
- ・ 課題をうまく設定させ、見通しをつけさせるといいと思う。仕掛けは周到に。

「3. この授業 1 回（90 分）のための予習・復習に費やした平均時間」

- ・ 宿題を課すことにより、この項目数値は高まるであろうが、工夫しないと授業の満足度などの項目は低下してしまう可能性がある。
- ・ 宿題を課す回数が 3～4 回で、この項目に対して効果が上がるかは、疑問でもある。

「4. あなたは授業中のマナーを守ることができましたか。」

- ・ 私語をしている→注意することをプラスに評価する学生と先生が注意すると授業が進行しないと否定的に捉える学生がいるがどうするか？
- ・ 携帯をいじっている→注意する、取り上げる。
- ・ 授業にふさわしくない学生の行動とはどのようなものか？の考え方によって幅があるので、事前に考え方を統一しておいた方がよいのではないかな？

「7. 課題の内容や量は適切でしたか。」

- ・ 活動の到達目標を明確にする工夫は？
フィードバックを工夫することが大切。質問を書かせる→コメントを必ず入れる。ハンコだけでも。達成度が見える（大変な作業なので科目は絞っている）返却時に声をかける。
- ・ モチベーションを上げるのにコメントは効果がある。
- ・ 最後の授業で振り返りを言うのは？
- ・ 中間的な評価があった方が良いのかも？
- ・ 点数や評価も見える数字などで表してあげても良いのかも？

「8. 授業内容の難易度は適切でしたか。」

- ・ 何らかの形で学生へのフィードバックが必要である。
- ・ 授業の理解度を振り返りカード等を活用して難易度を調整する。
- ・ 難易度に関する満足度だけを追うことには問題がある。

「9. 教員に、授業への熱意が感じられましたか。」

- ・ 講義系は教員の教材に対する新鮮な目を維持することが必要。
- ・ 実技系は繰り返し行うことで教員のスキルがあがる。

「11. 教員の話し方（声の大きさ、話す速さ、メリハリ等）は適切でしたか。」

- ・ マイクを使って授業をすることが、必ずしも評価につながってはいないだろう。
- ・ 教室での音響の悪さ（物理的な教室環境）も、関係している。具体的には、通常教室の後ろ座席では、声が壁や床に反射して「わんわん」して聞こえるという事実。
- ・ 声が通りやすいように、座席位置を前に誘導する手法も有効であろう。
- ・ 「ゆっくり話す」「繰り返す」など、放送アナウンスの手法も必要かもしれない。

12. 黒板、教科書、ビデオ、プレゼンテーションソフト（パワーポイント等）などの使い方は適切でしたか。」

- ・ パワーポイント中心に授業を行っているが、より学生が理解を深める為に黒板も活用して分かりやすい授業に努める。

「13. 教員は、質問や発言を促そうとしていましたか。」

- ・ 質問を無理強いしたと受け取る学生もいるため、反って評価が低くなることもあるのではないかと。つまり、教員の行動が、学生から見ると、ポジティブに映らないときもあるのであろう。
- ・ 学生の持っている背後関係も十分に理解して問いかけないと、ただ単に「質問ありませんか」という問いでは、効果が出ないであろう。
- ・ 受講人数という物理的な環境にも左右されるであろう項目のため、改善が難しい問題ではある。

「15. 教員は授業にふさわしくない学生の行動等に適切に対応してきましたか。」

- ・ 具体的に、名前をあげて問題行動を指摘する方法も有効であろう。ただし、指摘を受けた学生が「私だけが注意された」と感じる可能性もある。
- ・ 厳格な授業運営をおこなうと、授業アンケート評価が低くなる傾向が見られるようであるが、それはそれで仕方のないことでもある。
- ・ 座席を指定席にして、学生を管理する授業運営方法もある。
- ・ 私語をしている→注意することをプラスに評価する学生と先生が注意すると授業が進行しないと否定的に捉える学生がいるがどうするか？
- ・ 携帯をいじっている→注意する、取り上げる。
- ・ 授業にふさわしくない学生の行動とはどのようなものか？の考え方によって幅があるので、事前に考え方を統一しておいた方がよいのではないかと？

「16. 教員は、全ての学生に公正な態度で接していましたか。」

- ・ 教員の公正な態度、質問に丁寧に答えてもらえることを学生は期待している。

「17. あなたは、この授業の到達目標を達成することができましたか。」

- ・ 授業内で、進捗の確認が必要であろう。具体的には、「本日はこの項目まで終了した」「テキストのここまで終了した」など確認をおこなうことで、自分の置かれている位置を学生が認識できるであろう。

- ・ 1回の授業のなかで、到達目標を設定し学生がそれを確認できるようにする必要。
- ・ 継続的な授業内容のなかで、学びを高めていくためには、こちら教員の運営上の工夫も必要ではある。たとえば、授業開始時に「前回のまとめ」をおこなう、授業終了時に「今回の重要事項をチェックする」などである。

〈到達目標の理解〉

- ・ 学生にとって理解が難しいため、15回の授業の中でチェックポイント（小テスト、レポート）を設け、到達目標を達成するため、学生自身が自己評価をできるようにする。

〈課題設定〉

- ・ 活動に到達目標を明確にする工夫は？
フィードバックを工夫することが大切。質問を書かせる→コメントを必ず入れる。ハンコだけでも。達成度が見える（大変な作業なので科目は絞っている）返却時に声をかける
- ・ モチベーションを上げるのにコメントは効果がある。
- ・ 最後の授業で振り返りを言うのは？
- ・ 中間的な評価があった方が良いのか？
- ・ 点数や評価も見える数字などで表してあげても良いかも？

「19. 授業全体として満足できるものでしたか。」

- ・ 授業の難易度や厳格な授業運営と反比例的な項目であると考えられるために、学習時に理由づけ（動機付け？）が必要であろう。具体的には、「社会で必要とされる技術であるため、ここまでは理解しておく必要がある」、「社会のマナーとして守るべきことである」などの説明である。
- ・ この総合的な評価項目についても、授業外での学生との関わりが影響していると考えられる。つまり、授業外で学生との関わり（関係の良さ）を確保すると、学生の取り組み姿勢も変化し、それに伴い学習効果も上がり、その結果で満足度も上がるのではないかと。
- ・ 授業の課題が明確であれば学生は満足する？
- ・ グループ討論では、報告性が簡単につかめないで、学生は不安になる。
- ・ 提出物をこまめにチェックする教員は評価される。
- ・ クラスの雰囲気による差によって満足度の差が大きい。
- ・ 満足→到達した満足。

「その他」

- ・ 優れているメモ→感想を共有する。
- ・ 写真をラインで共有については、学生からのコメントはない。感想を共有し合う場が必要。

- ・グループの勝負で点の差別化→批判

〈授業の運営について〉

気をつけていること（ノウハウや課題など）

- ・ 冒頭に目標を明示し、講義の内容を説明する。
- ・ 検定を入れたりする。
- ・ 設備などに依存する場合は難しい。

〈着席方法〉

- ・ 音楽はスキル別に縦に並べる。
- ・ 人数の多い時は指定席、少ない時は自由席にしている。

〈グループ分け〉

- ・ グループは全く自由。
- ・ チームは教員がコントロールする必要がある。

〈例〉くじ引きでグループをつくらせる、誕生日・趣味、ゲーム形式。

〈マナー〉

- ・ スマホ、飲食は禁止をルールとして授業の最初に示してある。「違反者は評価しない」
- ・ スマホの充電を禁止すべきか？分からない。授業の共通ルールを教室に掲示する方法がある。

〈クラスの差〉

- ・ 差があるクラスでも、きちんと課題を意識的に説明するようにしたら差が縮まった。意味づけの為の説明。
- ・ 教育的効果と満足度の関係はどうか？データが取れるのか？

〈アンケート項目全体にわたり〉

- ・ 授業外の学生との関わりが、授業アンケート項目の評価にも関係性があるとも考えられる。つまり、授業外での学生との関わりも授業評価に出てしまっているのではないか。逆に、授業外での関わり（コミュニケーション）や親和性を高める努力（名前を覚える）があれば、授業運営をうまくこなすことが出来るのではないか。
- ・ 教員の人柄などに依るのではなく、具体的で有効な教授法を共有することで、教員全員のアンケート評価を高めていくことが望ましいであろう。

〈その他、アンケート実施に関する問題点の共有〉

- ・ アンケートをおこなう際に、アンケート実施側で意図している内容が正確に伝わることを担保する、調査実施方法も考えていく必要がある。
- ・ 調査データの無効票の扱いについても考えていく必要がある。つまり、すべてのアンケートを集計するのではなく、突出した異常データの扱いをも考えるべきであろう。

岡崎女子大学・岡崎女子短期大学 平成27年度第2回FD研修会

学びを促す非認知的スキル -やる気、努力、人と関わる力を育てる方法-

■ 日 時：平成27年12月16日（水）13:10～14:10

■ 場 所：ラーニングプラザ

■ 目的及び内容

第2回FD研修会では、授業の改善点と改善策を踏まえた上で、学生への教育の在り方について、さらに深めた検討をしていきたいと考えています。各学部、学科の求める人材を育成するにあたり、「いまの学生を育てるために教員・職員に求められている教育」について、広く皆様の意見を伺うことを目的としています。研修会では、人が学び発達するために必要なスキルである非認知的スキルについて教職員で考える場となるよう、グループワーク形式で進行させていただきます。

■ スケジュール

- | | |
|------------|-------------|
| 1. はじめに | 13:10～13:15 |
| 2. グループワーク | 13:15～13:50 |
| 3. 発表・まとめ | 13:50～14:10 |

■ [2. グループワーク]

①学生に「やる気」を持たせるための方法.

②学生に「努力」する意欲を持たせるための方法.

③学生に「人と関わる力」を養わせるための方法.

岡崎女子大学・岡崎女子短期大学
教職員各位
非常勤講師の先生方

平成28年2月1日

平成27年度 第3回FD研修会
「＜教える技術＞について」
(ご案内)

FD委員長 小野 隆

下記の要領で第3回FD研修会を開催いたします。

今回の研修会では、学生の自発的・協同的な学びを促す「教える技術」のあり方について、ご高名な専門の講師をお招きして講演をしていただきます。年度末のお忙しい時期とは存じますが、是非ともご参加くださいますようお願い申し上げます。

記

■ 日 時：平成28年2月29日（月）13:10～14:40

■ 場 所：6212 教室

■ 講 師：向後千春 先生（早稲田大学人間科学学術院 教授）



著書に、
『アドラー”実践”講義』技術評論社、2014.
『教師のための「教える技術」』明治図書出版、2014.
『200字の法則 伝わる文章を書く技術』永岡書店、2014.
『いちばんやさしい教える技術』永岡書店、2012.
など多数。

■ 参加申込み

参加をご希望される先生方は、以下アドレスに件名「第3回FD研修申込」、本文にお名前を入力して【メール送信】にてお申込みください。

メール送信先：kyoumu@okazaki.ac.jp

※ お問い合わせ：FD研修会担当 米窪(内線 3205)・矢藤(内線 7304)
yonekubo@okazaki-c.ac.jp

教務課 神谷雅樹 0564-28-3315
以上

岡崎女子大学・岡崎女子短期大学

第1回FD勉強会

■日 時：平成27年6月17日（水）17：00～18：00

■場 所：2505 教室

■目的

今年度から新たに取り組む「FD 勉強会」は、岡崎女子大学・岡崎女子短期大学におけるFD活動として、具体的な教師力の向上を目的とした勉強会を行い、学生の自発的・協同的な学びを促すことを目的としています。また、先生方にテーマを募集し、様々な内容での勉強会を同時に進めていきたいと考えています。

■内容とスケジュール

1. FD 勉強会について

- ・教材を用いた勉強会
「いちばんやさしい教える技術」 向後千春著
- ・テーマを募集しての勉強会

2. 学生の状況や教員としての改善点

- ・学生の状況
- ・教員としての改善点

3. 今後の予定

岡崎女子大学・岡崎女子短期大学

第2回FD勉強会

■日 時：平成27年8月19日（水）10：40～12：10

■場 所：2304 教室

■テーマ「学生の状況や課題を通して～指導方法の検討①～」

【学生の状況や課題】

1. マナーやルール、家庭教育の必要性。
2. 言語理解力、聞いたことを理解する力を養う為には。
3. 学生の行動、時間の使い方、何をする時間なのか、学ぶ姿勢の在り方。
4. 成果保証について、達成感を味わうには、課題のレベル設定。
5. グループ学習の進め方、グループの分け方。
6. 誰かが教えてくれる、学びの主体性、積極性。
7. 入学前教育、ノートのまとめ方、アカデミックスキル。

【教員の状況や課題】

1. 環境づくり、配布物の調整。
2. 大学の校風づくり。

【指導方法の検討①】

(1)

(2)

(3)

5. 授業公開関係

平成27年度は6月から授業公開を実施した。

関係資料を次頁以降に掲載する。

授業公開実施要領（案）

1. 授業公開の目的

「授業公開」を継続的に行うことにより、授業の内容・方法について教職員による情報交換を行い、授業改善に資することを目的とする。また、教育内容の充実や教員の教育力向上を目指す。

2. 実施内容

(1) 参観

岡崎女子大学・岡崎女子短期大学の全専任教員は各期 1 回以上（1 年間 2 回以上）、他教員の授業を参観する。ただし、非常勤講師は任意とする。

(2) 授業公開－参観の方法

公開前	<p>○参観する教員（以下：参観者）は、事前に公開する教員（以下：公開者）に参観を依頼する。</p> <p>・授業内容（シラバス）に基づき、参観する日時を調整する。</p> <p>・公開者は授業内容について知らせ、学生に配布される教材や資料を渡し、参観の方法を検討する。</p>
公開日	<p>○公開者は、授業公開を行う授業を受講している学生に、実施について伝達する。</p> <p>○参観者は対象授業を原則 90 分間、参観する。</p>
公開後	<p>○参観者は、直ちに参観後「授業公開コメント・自己評価用紙（左側）」に感想等を記入し、公開者に提出する（メールなど方法は各先生で調整してください）。</p> <p>○公開者は、「授業公開コメント自己評価用紙」を受け取ったら、その内容を踏まえ、「授業公開コメント・自己評価用紙（右側）」に改善点等を記述する。記入後は教務課に提出する。</p>

*授業公開コメント・自己評価用紙は Hot Biz（「キャビネット」→「FD・SD 関係」）からダウンロードすることができます。

3. その他

提出された授業公開コメント・自己評価用紙から、FD 研修会において話題提供をいただくことがある。

◇問い合わせ先

FD 委員会「授業公開」ワーキンググループ代表
岡崎女子短期大学 山下 晋（内線 6307）

■実施までの流れ

- ・授業公開 WG で実施要領（案）作成
- ・FD 委員会で検討 → （修正・）承認
- ・学長名で全教員に依頼文を送付
- ・授業公開実施（コメント用紙記入）

平成 27 年 6 月 13 日

岡崎女子大学
岡崎女子短期大学 専任教員各位

岡崎女子大学
岡崎女子短期大学
学 長 長 柄 孝 彦

平成 27 年度 授業公開の実施について

岡崎女子大学、岡崎女子短期大学では、授業の内容・方法について教職員による情報交換を行い、授業改善に資すること、また、教育内容の充実や教員の教育力向上を目指すことを目的として、授業公開を下記の実施内容のとおり行います。

◆実施内容

(1) 参観

岡崎女子大学・岡崎女子短期大学の全専任教員は各期 1 回以上（1 年間 2 回以上）、他教員の授業を参観する。ただし、非常勤講師は任意とする。

(2) 授業公開－参観の方法

公開前	<p>○参観する教員（以下：参観者）は、事前に公開する教員（以下：公開者）に参観を依頼する（方法は口頭、E メールなど各先生にお任せします）。</p> <p>・授業内容（シラバス）に基づき、参観する日時を調整する。</p> <p>・公開者は授業内容について知らせ、学生に配布される教材や資料を渡し、参観の方法を検討する。</p>
公開日	<p>○公開者は、授業公開を行う授業を受講している学生に、実施について伝達する。</p> <p>○参観者は対象授業を原則 90 分間、参観する。</p>
公開後	<p>○参観者は、直ちに参観後「授業公開コメント・自己評価用紙（左側）」に感想等を記入し、公開者に提出する（メールなど方法は各先生で調整してください）。</p> <p>○公開者は、「授業公開コメント自己評価用紙」を受け取ったら、その内容を踏まえ、「授業公開コメント・自己評価用紙（右側）」に改善点等を記述する。記入後は教務課に提出する。</p>

*授業公開コメント・自己評価用紙は Hot Biz「キャビネット」からダウンロードすることができます。

なお、提出された授業公開コメント・自己評価用紙から、FD 研修会において話題提供をいただくことがありますのでよろしくお願いします。

◇問い合わせ先

FD 委員会「授業公開」ワーキンググループ
岡崎女子短期大学 山下 晋（内線 6307）

平成 27 年度 授業公開コメント・自己評価用紙

記入日： 年 月 日

参観者	所属		氏名	
公開ー参観日	月 日 () 限目			
授業科目		授業担当者		

I. この授業で印象に残った点についてご記入ください。【参観者記入】

II. 上記コメントを参考に、この授業の自己評価についてご記入ください。【公開者記入】

*ご協力ありがとうございました。記入後は教務課（担当：神谷雅）まで提出してください。
 なお、ご不明な点は、FD 委員会授業公開 WG（山下）までお問い合わせください。

2016/2/17現在

平成27年度「授業公開」実施結果

FD委員会授業公開ワーキンググループ

	日付	時限		授業科目名	授業形態	参観者	授業担当者
1	6月16日	2	短大	幼児体育Ⅰ	演習	山下	鳥居
2	6月18日	2	短大	幼児体育Ⅰ	演習	鳥居	山下
3	6月22日	3	大学	幼児体育Ⅰ	演習	鈴木(方)	鳥居
4	6月26日	3	短大	保育内容演習(人間関係)	演習	鈴木(文)	大岩
5	7月1日	1	短大	日本語表現	講義	鈴木(穂)	竹本
6	7月1日	2	短大	乳児保育Ⅰ	演習	笹瀬	鈴木(文)
7	7月1日	2	大学	保育原理	講義	吉村	矢藤
8	7月2日	2	短大	幼児体育Ⅰ	演習	真木	山下
9	7月2日	4	大学	体育実技Ⅰ	実技	梅下	小野
10	7月2日	4	大学	体育実技Ⅰ	実技	仲田	小野
11	7月3日	1	短大	日本語表現	講義	鈴木(穂)	赤羽根
12	7月3日	4	大学	保育内容演習「言葉」Ⅰ	演習	岸本	赤羽根
13	7月3日	4	大学	保育内容演習「言葉」Ⅰ	演習	上田	赤羽根
14	7月6日	4	大学	保育の計画と評価	講義	小宮	大岩
15	7月7日	2	短大	保育内容演習(言葉)	演習	松井	上田
16	7月7日	3	大学	表現創作(作曲)	演習	小川	北浦
17	7月7日	3	短大	児童文化演習Ⅰ	演習	赤羽根	鈴木(穂)
18	7月10日	3	短大	健康とスポーツ(実技)	実技	中村	山下
19	7月10日	3	短大	健康とスポーツ(実技)	実技	白垣	山下
20	7月10日	5	短大	幼児造形Ⅱ	演習	滝沢	横田
21	7月13日	1	短大	社会福祉	講義	小野	仲田
22	7月13日	1	短大	基礎演習Ⅱ	演習	森	吉村
23	7月13日	2	短大	教育実習	実習	鈴木(恒)	野田
24	7月13日	3	短大	マーケティング論	講義	市原	祝田
25	7月13日	3	大学	教育実習指導Ⅰ	演習	小原	岸本
26	7月13日	4	短大	簿記検定講座Ⅰ	演習	町田	河合
27	7月14日	3	大学	日本文学	講義	赤羽根	上田
28	7月14日	4	短大	簿記原理Ⅰ	講義	黒野	河合
29	7月14日	5	短大	医療保障制度概論	講義	河合	黒野
30	7月16日	2	短大	保育内容演習(表現)	演習	妹尾	滝沢・山田・横田
31	7月16日	4	短大	保育内容演習(人間関係)	演習	祝田	大岩
32	7月16日	4	大学	体育実技Ⅰ	実技	北浦	小野
33	7月16日	4	大学	体育実技Ⅰ	実技	山下	小野
34	7月17日	1	短大	保育実習指導Ⅰ・Ⅱ	演習	横田	野田
35	7月20日	2	短大	パフォーマンスボディ	演習	山田(悠)	長柄
36	7月21日	1	大学	保育内容演習「健康」Ⅰ	演習	平尾	鈴木(恒)
37	7月23日	1	大学	相談援助Ⅰ	演習	矢藤	権
38	7月31日	1	短大	保育実習指導Ⅰ・Ⅱ	演習	大岩	鈴木(文)
39	10月26日	2	大学	舞台表現の技術	演習	矢藤	岡本(伸)
40	11月16日	3	大学	体育実技Ⅱ	実技	真木	小野
41	11月20日	5	短大	児童文学	講義	鈴木(穂)	上田
42	11月26日	1	大学	幼児体育Ⅱ	演習	鳥居	山下
43	12月1日	2	大学	保育内容演習「言葉」Ⅱ	演習	上田	赤羽根
44	12月2日	1	短大	保育実習指導Ⅰ	演習	野田	後藤
45	12月3日	3	短大	児童文化演習Ⅱ	演習	滝沢	鈴木(穂)
46	12月3日	4	短大	児童文学	講義	松井	鈴木(穂)
47	12月4日	3	大学	文章表現法	演習	赤羽根	上田
48	12月4日	4	大学	幼児音楽Ⅱ	演習	白垣	小川・麓
49	12月4日	4	大学	幼児音楽Ⅱ	演習	吉村	小川・麓
50	12月7日	3	大学	コミュニケーション演習	演習	鈴木(方)	岡本(伸)
51	12月8日	3	短大	幼児音楽Ⅱ	演習	妹尾	平尾・堀
52	12月10日	3	大学	乳児保育Ⅱ	演習	小川	鈴木(方)
53	12月11日	2	短大	ユニバーサルデザイン	講義	市原	町田
54	12月11日	3	短大	児童文化演習Ⅱ	演習	山下	鈴木(穂)
55	12月14日	3	大学	コミュニケーション演習	演習	大岩	岡本(伸)
56	12月21日	3	短大	情報処理Ⅱ	演習	町田	市原

2016/2/17現在

平成27年度「授業公開」実施結果

FD委員会授業公開ワーキンググループ

	日付	時限		授業科目名	授業形態	参観者	授業担当者
57	12月22日	1	短大	幼児造形Ⅰ	演習	鈴木(恒)	米窪
58	12月24日	1	大学	保育方法論	講義	鈴木(方)	大岩
59	12月24日	3	大学	保育内容演習「健康」Ⅱ	演習	岸本	鈴木(恒)
60	12月24日	3	短大	パフォーマンスボディⅡ	演習	野田	佐藤(和)
61	12月25日	1	短大	障害児保育Ⅱ	演習	小野	梅下
62	12月28日	2	短大	保育課程論	講義	中村	大岩
63	12月28日	4	大学	保健体育講義	講義	梅下	小野
64	12月28日	5	大学	教育方法論	講義	岡本(伸)	矢藤
65	1月5日	1	短大	幼児造形Ⅰ	演習	佐善	米窪
66	1月5日	2	短大	教職実践演習(幼稚園)	演習	笹瀬	野田
67	1月12日	1	短大	診療報酬請求論Ⅱ	講義	河合	黒野
68	1月12日	4	短大	幼児音楽Ⅱ	演習	横田	妹尾・滝沢
69	1月13日	2	短大	簿記原理Ⅱ	講義	黒野	河合
70	1月13日	2	大学	保育者論	講義	祝田	矢藤
71	1月14日	3	短大	幼児造形Ⅰ	演習	佐善	横田
72	1月14日	4	短大	幼児造形Ⅰ	演習	山田(悠)	横田
73	1月15日	5	短大	幼児理解の理論と方法	講義	山田(光)	小原
74	1月18日	3	大学	造形Ⅱ	演習	米窪	佐善
75	1月18日	4	大学	造形Ⅱ	演習	小宮	佐善
76	1月18日	4	大学	保健体育講義	講義	小原	小野
77	1月18日	5	大学	教育方法論	講義	岡本(伸)	矢藤
78	1月18日	5	大学	教育方法論	講義	森	矢藤
79	1月18日	5	大学	教育方法論	講義	山田(光)	矢藤
80	1月19日	5	大学	教育経営論	講義	権	矢藤
81	1月21日	2	短大	幼児造形Ⅰ	演習	米窪	横田
82	1月26日	2	短大	幼児造形Ⅰ	演習	平尾	米窪
83	1月26日	5	大学	教育経営論	講義	花田	矢藤

おわりに ～FD活動の次年度の課題について～

FD委員会

はじめにの最後にも記述したとおり、建学の精神から3ポリシー、カリキュラムから教育内容・方法及び学修指導等の改善につながる構造の共通理解をもとに、各科目の授業内容の検証を授業アンケートから、学生生活全般の検証を学生満足度アンケートから行い、IRを設置するなどして、調査結果の分析・評価を各学科や関係部署に伝達し、授業運営や学修環境、学生の理解度等の具体的な課題を共有し解決していく体制づくりが必要との認識について、FD研修会等にて確認しあってきたが、中々一気には進まないのが現状である。

そこで次年度も引き続き、「授業アンケート」「授業公開」「FD 研修会」の実施については、FD委員会の中のワーキンググループが中心となって企画し、FD委員会での検討を経て教授会、学部・学科会議で周知し全学的に実施していく。また、実施された取り組みの結果は、授業担当者及び関係部署に適宜フィードバックし、情報の共有化とともに共通認識の醸成が図られるように啓発していく。また、FD委員会を中心に、関係部署との連携体制のもと課題の解決に向けて継続的に検証していく必要がある。

以上の様なこれまでのFD活動を踏まえ、新たな平成27年度の活動成果として追記すると、①FD活動強化のため、委員会をほぼ1ヶ月に1回開催したこと、②「授業アンケート」の結果に加え「授業アンケートによる自己点検報告書」を学修支援センターで開示し、学生をはじめ誰でも閲覧できる状態としたこと、③「授業公開」のシステムを見直し、より活発な授業の相互参観を促したこと、④授業アンケート研究会や小規模の教員座談会のようなFD勉強会を数回ながら催したこと等が挙げられる。

次年度の課題としては、継続的に教育・研究内容及び教育方法の改善・向上を図るため、FD委員会として「授業アンケート」結果の詳細な分析に基づく考察を行い、現状の把握とともに今後のFDに関する取り組みに活かすための情報を整理し、授業内容や授業を取り巻く環境等の有効な改善策につなげていくことである。このことを意識し、また、モニター学生等を組織し学生達からの直接的なインタビューによる調査を行う体制作りが必要である。さらには教育方法の共有とそこからの学びにつなげる「FD研修会」を実施したり、豊富なデータに基づくエビデンスの共有が可能な「FD活動・研究報告書」を作成したり、その報告書のより効果的な開示方法を検討したりすることが求められる。

これらのミッションを確実に継続実施することで、大きな効果を上げられると考えるが、さらに今後のビジョンとして、学修成果の可視化⇒履修カルテや学生ポートフォリオのデジタル化と集約・分析・共有・指導、アクティブ・ラーニングの推進⇒一斉講義形式授業のグループワーク演習形式授業への再構築と教室環境の整備、教職員協働による発達障害傾向や学力不足の学生への組織的対応⇒初年次教育の見直しやチューター制度の導入などといった取り組みを積極的に取り入れ推進する体制づくりが望まれよう。